

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-10

< 第11週 > インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向

< 2月 > 性感染症・薬剤耐性菌感染症について



注目すべき感染症

< 今週は該当記事はありません >



病原体情報
P.11-13

麻疹ウイルス 2013~2014年



速報
P.14-16

高槻市における2014(平成26)年2月の麻しんの発生状況と対応について



海外感染症情報
P.17-26

鳥インフルエンザA(H7N9)の発生状況について / 中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について / カメルーンにおけるポリオの発生状況について / 中東におけるポリオの発生状況について / ギニアでエボラ出血熱が発生しています



感染症の話
P.27

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(11週)
P.28-34



グラフ総覧(2月)
P.35-40



2月のデータ
P.41-43



11週のデータ
P.44-57



発生動向総覧

< 第11週コメント > 3月19日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核354例

3類感染症

細菌性赤痢2例 菌種: *S. sonnei* (D群) 2例_感染地域: インドネシア2例
 腸管出血性大腸菌感染症7例(有症者6例、うちHUS なし)
 感染地域: 国内6例、国内・国外不明1例
 国内の感染地域: 秋田県1例、東京都1例、神奈川県1例、新潟県1例、福岡県1例、不明1例
 年齢群: 10代(1例)、20代(1例)、30代(2例)、40代(3例)
 血清型・毒素型: O121 VT2(2例)、O157 VT1・VT2(2例)、O26 VT1(1例)、O159 VT2(1例)、その他・不明(1例)
 累積報告数: 70例(有症者48例、うちHUS 3例、死亡なし)

4類感染症

A型肝炎29例 感染地域: 広島県6例、宮崎県3例、神奈川県2例、愛知県2例、愛媛県2例、鹿児島県2例、宮城県1例、群馬県1例、東京都1例、兵庫県1例、島根県1例、福岡県1例、佐賀県1例、国内(都道府県不明)4例、国内・国外不明1例
 つつが虫病1例 感染地域: 鹿児島県
 デング熱4例 感染地域: インドネシア3例、フィジー1例
 レジオネラ症10例(肺炎型10例)
 感染地域: 愛知県2例、埼玉県1例、神奈川県1例、富山県1例、長野県1例、長崎県1例、国内(都道府県不明)3例
 年齢群: 50代(1例)、60代(3例)、70代(3例)、80代(2例)、90代(1例)

5類感染症

アメーバ赤痢17例(腸管アメーバ症15例、腸管外アメーバ症2例)
 感染地域: 山形県1例、福島県1例、千葉県1例、東京都1例、長野県1例、愛知県1例、大阪府1例、兵庫県1例、沖縄県1例、国内(都道府県不明)5例、インド1例、韓国1例、ベトナム/ラオス/カンボジア1例
 感染経路: 性的接触3例(異性間1例、同性間1例、異性/同性間1例)、経口感染4例、不明10例

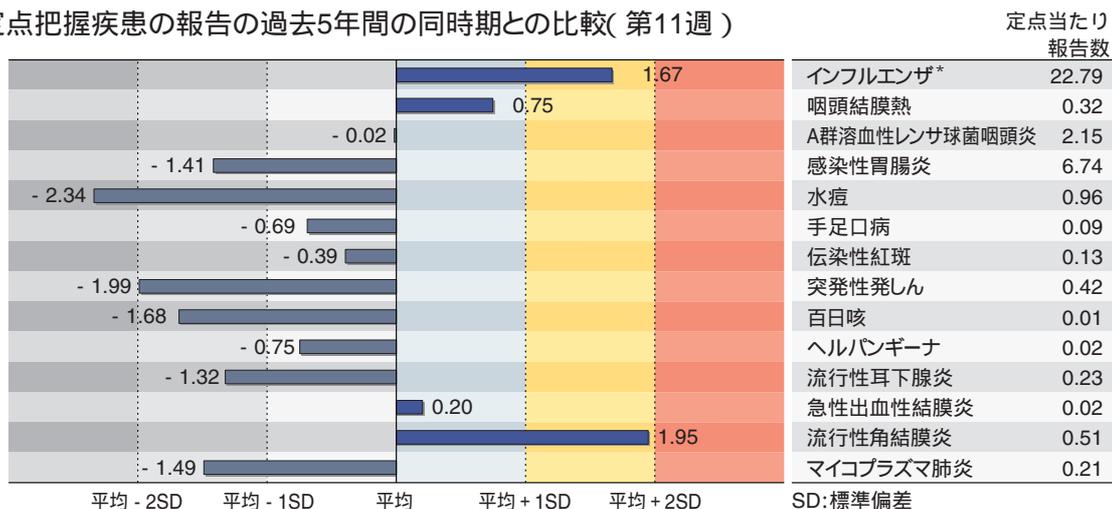
- ウイルス性肝炎5例 B型3例__感染経路: 性的接触2例(異性間1例、同性間1例)、その他(母子水平感染)1例
C型1例__感染経路: 性的接触(異性間)
サイトメガロウイルス1例__感染経路: 不明
- 急性脳炎8例 インフルエンザウイルスB型3例__年齢群: 2歳(1例)、4歳(1例)、9歳(1例)
アデノウイルス1例__年齢群: 4歳
ロタウイルス1例__年齢群: 4歳
病原体不明3例__年齢群: 0歳(1例)、1歳(1例)、4歳(1例)
- クロイツフェルト・ヤコブ病3例
孤発性プリオン病古典型3例
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例
年齢群: 30代(1例)、40代(1例 . 死亡)、50代(1例 . 死亡)、80代(1例 . 死亡)
- 後天性免疫不全症候群17例(AIDS 4例、無症候11例、その他2例)
感染地域: 国内17例
感染経路: 性的接触17例(異性間2例、同性間15例)
- ジアルジア症2例 感染地域: 国内(都道府県不明)1例、インド1例
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症4例(菌検出検体: 血液4例)
年齢群: 60代(1例)、70代(2例)、90代(1例)
- 侵襲性肺炎球菌感染症22例(菌検出検体: 血液16例、血液・髄液6例)
年齢群: 1歳(1例)、2歳(1例)、20代(1例)、50代(2例)、60代(3例)、70代(5例)、80代(7例)、90代(2例)
- 梅毒9例(早期顕症I期2例、早期顕症II期3例、晩期顕症1例、無症候3例)
- 破傷風1例 年齢群: 70代
- バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例
遺伝子型: 不明__菌検出検体: 便
- 風しん7例(検査診断例3例、臨床診断例4例)
感染地域: 東京都1例、岐阜県1例、静岡県1例、愛知県1例、大阪府1例、国内(都道府県不明)2例
年齢群: 0歳(1例)、2歳(1例)、4歳(1例)、15～19歳(1例)、25～29歳(2例)、30～34歳(1例)
累積報告数: 104例(検査診断例71例、臨床診断例33例)
- 麻しん9例〔麻しん(検査診断例4例、臨床診断例4例)、修飾麻しん1例〕
感染地域: 静岡県3例、埼玉県1例、千葉県1例、広島県1例、熊本県1例、国内(都道府県不明)1例、ベトナム1例
年齢群: 0歳(1例)、5～9歳(1例)、20～24歳(2例)、30～34歳(2例)、35～39歳(3例)
累積報告数: 180例〔麻しん(検査診断例139例、臨床診断例26例)、修飾麻しん15例〕

(補) 2013年第11週から2014年第10週までに診断されたものの報告遅れとして、E型肝炎3例〔感染地域(感染源): 広島県1例(猪肉)、長崎県1例(不明)、宮崎県1例(不明)〕、オウム病1例〔感染地域: 東京都__感染源: 不明〕、マラリア1例〔三日熱__感染地域: インド〕、急性脳炎2例〔インフルエンザウイルスA型2例__年齢群: 0歳(1例)、40代(1例)〕、クリプトスポリジウム症1例〔感染地域: 国内(都道府県不明)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(20代)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第11週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は福井県(46.16)、岩手県(41.28)、宮城県(39.83)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は591例と前週と比較して減少した。46都道府県から報告があり、年齢別では0歳(28例)、1～9歳(230例)、10代(47例)、20代(9例)、30代(15例)、40代(15例)、50代(24例)、60代(43例)、70代(65例)、80歳以上(115例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの)

RSウイルス感染症の報告数は778例と第5週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は島根県(1.52)、石川県(1.24)、鹿児島県(1.18)である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山形県(7.73)、新潟県(5.41)、富山県(4.21)である。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮城県(15.58)、大分県(15.14)、熊本県(14.90)である。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.71)、鹿児島県(1.91)、富山県(1.79)、石川県(1.79)である。

手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮城県(1.31)、熊本県(1.16)、福岡県(0.45)である。

百日咳の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は長崎県(0.14)、沖縄県(0.06)、福岡県(0.05)である。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は佐賀県(0.22)、熊本県(0.14)、福岡県(0.08)である。

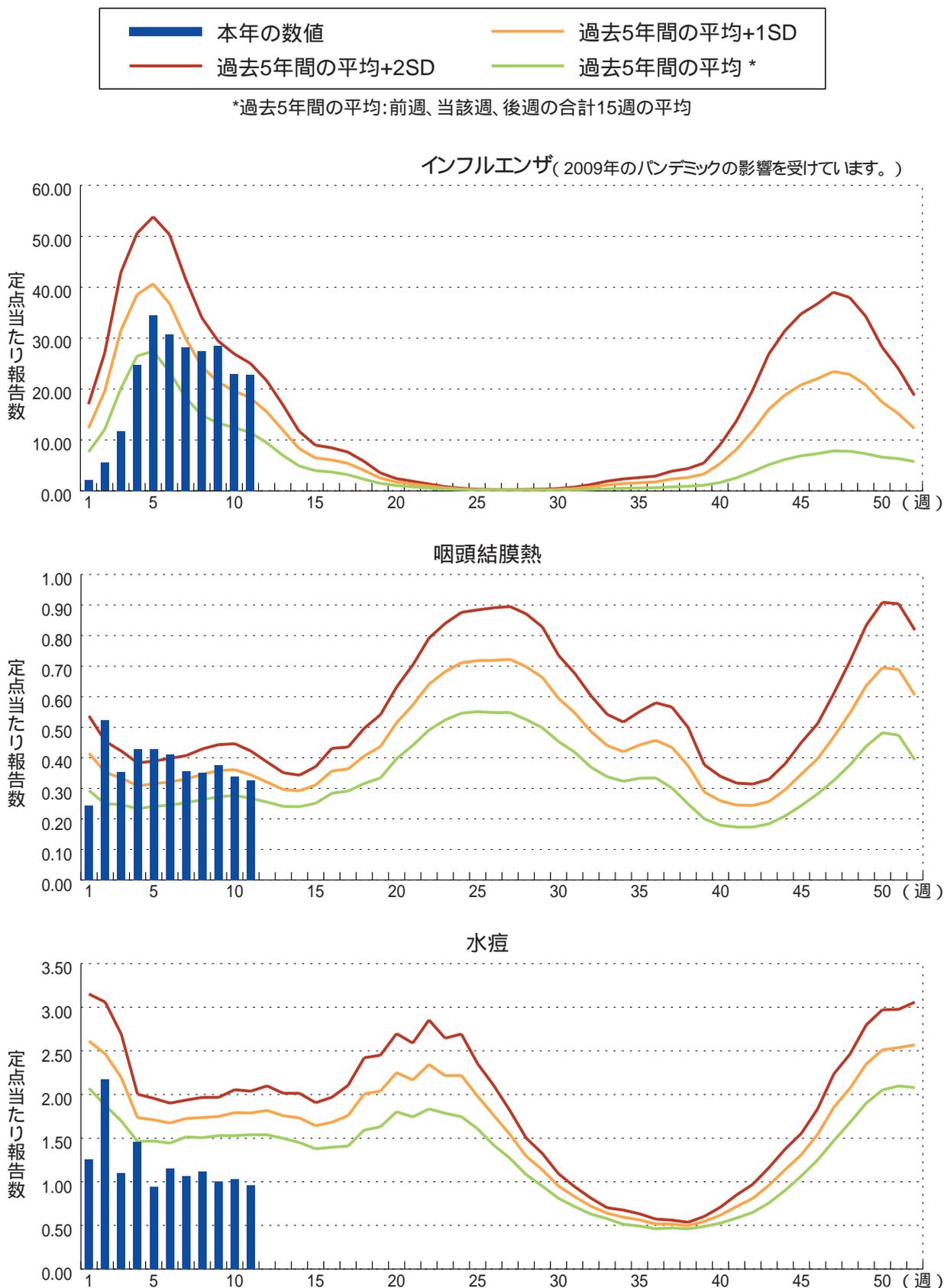
基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は青森県(1.50)、福島県(0.71)、静岡県(0.70)である。

感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。29都道府県から87例報告があり、年齢別では0歳(12例)、1～4歳(64例)、5～9歳(9例)、10代(1例)、20代(1例)であった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2014年第11週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。



2月コメント

性感染症について (3月11日集計分、35～38ページ「グラフ総覧」参照)

4つの性感染症(性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症)は性感染症定点医療機関(全国約1,000カ所)から毎月報告される。2014年2月分の報告を行った性感染症定点医療機関数は971(産婦人科・産科・婦人科:471、泌尿器科:404、皮膚科:84、性病科:12)であった。

発生動向の概要

2014年2月は、対象4疾患の中では性器クラミジア感染症、次いで淋菌感染症が多く、男性では性器クラミジア感染症、次いで淋菌感染症が、女性では性器クラミジア感染症、次いで性器ヘルペスウイルス感染症が多かった(図1)。以下疾患毎に、定点当たり報告数、過去5年間の同時期との比較(図2)、男女別・年齢群(0歳、1～4歳、5～69歳は5歳毎、および70歳以上)別患者報告数又は定点当たり報告数(図3)の概要を示す。

図1. 各性感染症が総報告数に占める割合(2月)

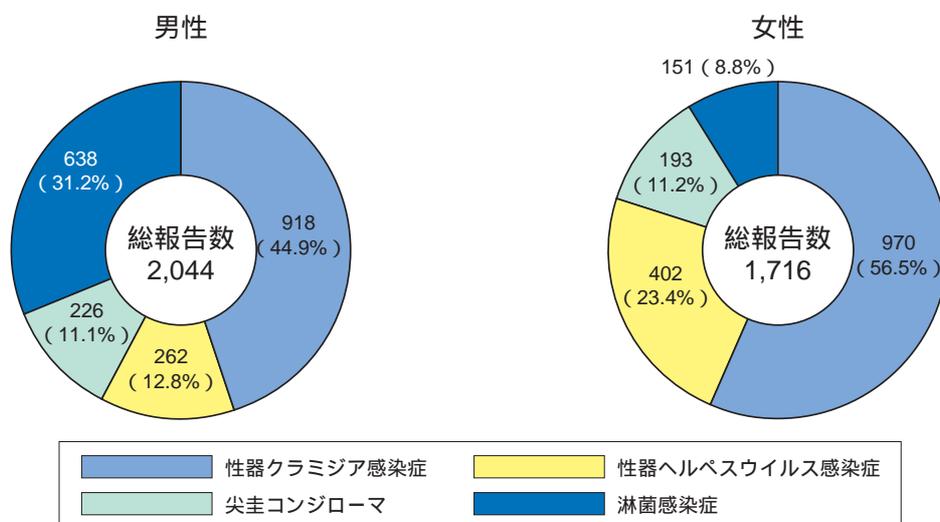
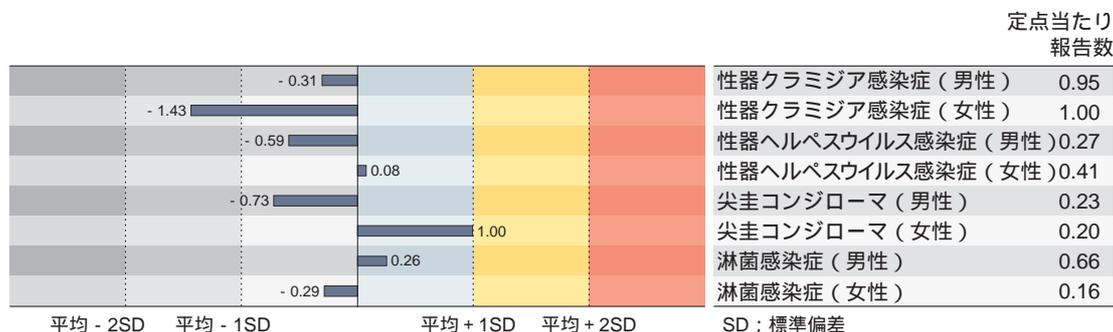


図2. 性感染症の定点当たり報告数の過去5年間の同時期との比較(2月)



当該月と過去5年間の平均(過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均)との差をグラフの上に表現した。

性器クラミジア感染症：定点当たり報告数1.94(男性0.95、女性1.00)

定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比較すると、女性でやや少なかった。年齢群別でみた定点当たり報告数のピークは男性では25～29歳の年齢群、女性では20～24歳の年齢群であった。また、男女ともに10～14歳の年齢群の報告を認めた。

性器ヘルペスウイルス感染症：定点当たり報告数0.68(男性0.27、女性0.41)

定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比較すると、男女ともに大きな変化は認められなかった。年齢群別でみた定点当たり報告数のピークは男性では35～39歳の年齢群、女性では25～29歳の年齢群であった。また、女性では1～4歳の年齢群の報告を認めた。男女ともに50代以降の報告が少なくないが、これらの報告の中には再発例が含まれている可能性がある。

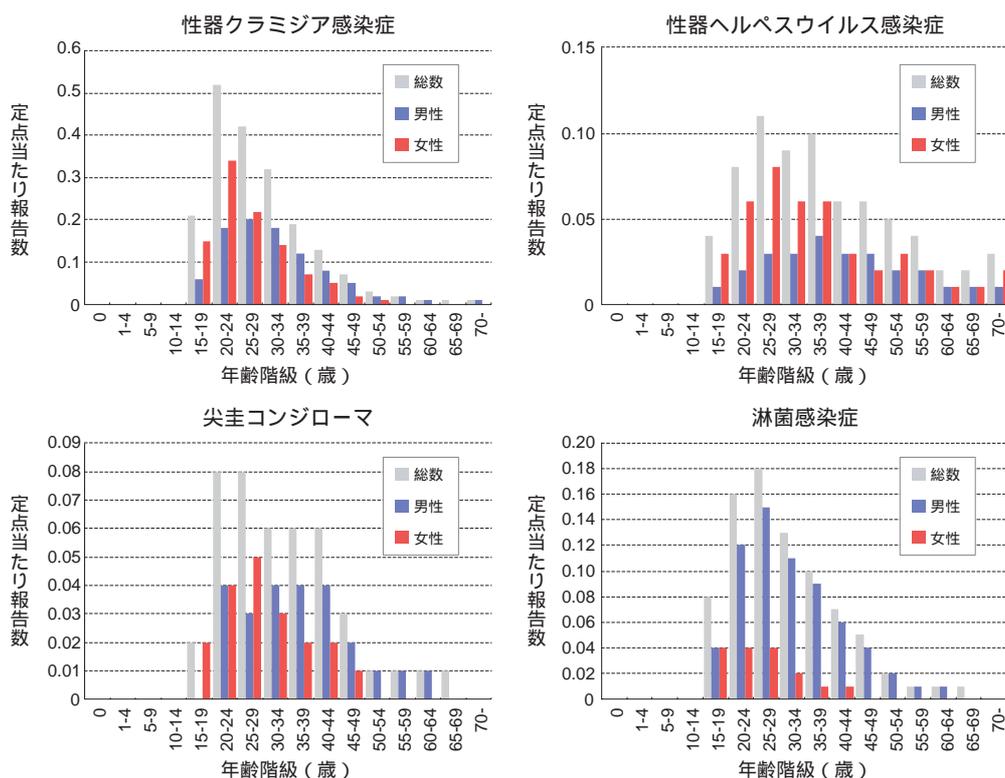
尖圭コンジローマ：定点当たり報告数0.43(男性0.23、女性0.20)

定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比較すると、男女ともに大きな変化は認められなかった。年齢群別でみた定点当たり報告数のピークは男性では35～39歳、40～44歳の2つの年齢群、女性では25～29歳の年齢群であった。

淋菌感染症：定点当たり報告数0.81(男性0.66、女性0.16)

定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比較すると、男女ともに大きな変化は認められなかった。年齢群別でみた定点当たり報告数のピークは男性では25～29歳の年齢群、女性では20～24歳の年齢群であった。また、男性では10～14歳の年齢群の報告を認めた。

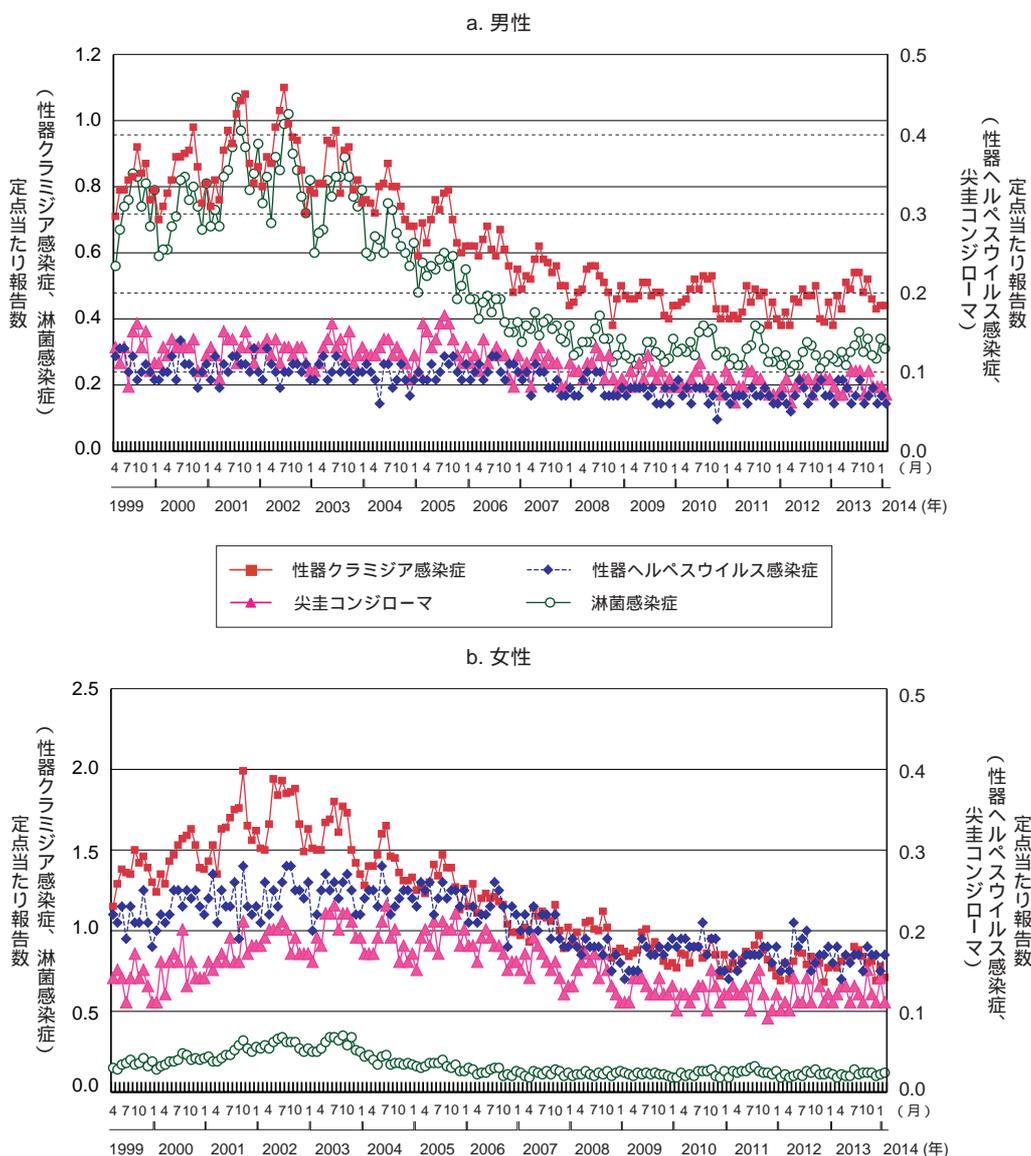
図3. 性感染症の男女別・年齢群分布(2月)



若年層における定点当たり報告数推移

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年層(15～29歳)における各疾患の定点当たり報告数を男女別・月別に図4に示した。性器クラミジア感染症は男女ともに2003年以降減少傾向がみられた後、男性では2009年以降、女性では2010年以降は減少が鈍化していた。性器ヘルペスウイルス感染症は男性では2007年から減少傾向だが、2010年以降はほぼ横ばいであり、女性では2006年以降減少傾向がみられた後、2009年以降は増減を繰り返し、ほぼ横ばいであった。尖圭コンジローマは男女ともに2006年以降減少傾向がみられた後、2010年以降はほぼ横ばいであった。淋菌感染症は男性では2003年以降、女性では2004年以降減少傾向がみられた後、男女ともに2007年以降はほぼ横ばいであった。

図4. 若年層における性感染症の年別・月別推移
(15～29歳、1999年4月～2014年2月)



薬剤耐性菌感染症について

(3月11日集計分、39～40ページ「グラフ総覧」参照)

4つの薬剤耐性菌感染症〔メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症、薬剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症、薬剤耐性アシネトバクター(MDRA)感染症〕は、2次医療圏毎に1カ所以上定められた病床数300以上の基幹定点医療機関(全国約500カ所)から毎月報告される。2014年2月分の報告を行った基幹定点医療機関数は474であった。

発生動向の概要

MRSA：定点当たり報告数3.19

定点当たり報告数は、例年年間を通じてほぼ一定である。過去10年間の同月との比較では最も少なかった。報告数は高齢者に多く、70歳以上が全体の66%を占めていた(図1)。

PRSP：定点当たり報告数0.40

定点当たり報告数は、2012年以降、以前の冬から初夏に多い傾向は認められていない。過去10年間の同月との比較では最も少なかった。報告数は小児と高齢者に多く、5歳未満が全体の33%を占める一方、70歳以上が全体の41%を占めていた(図2)。

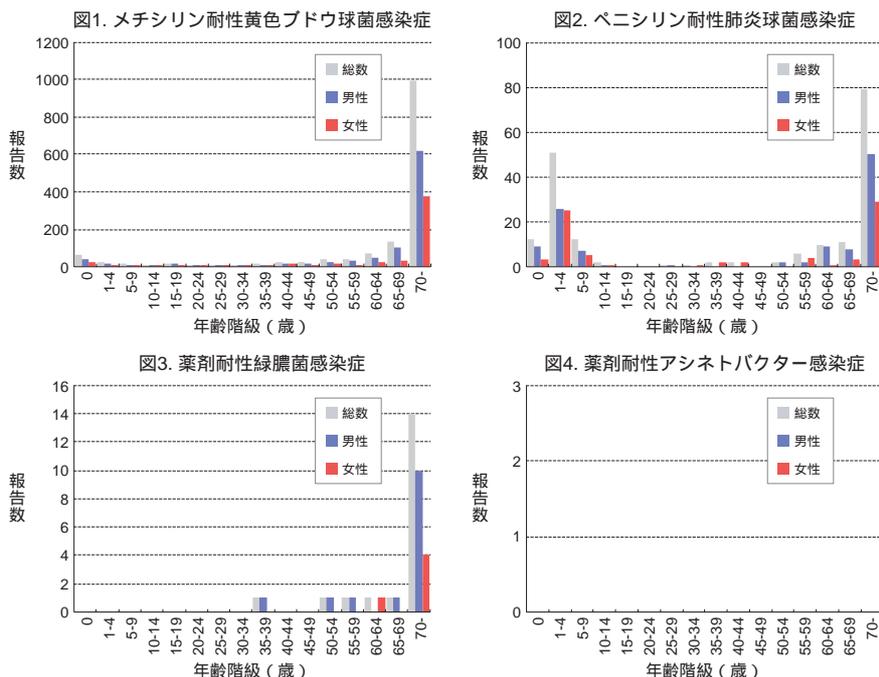
MDRP：定点当たり報告数0.04

定点当たり報告数は、例年夏から秋にかけて多い。過去10年間の同月との比較では最も少なかった。報告数は高齢者に多く、70歳以上が全体の74%を占めていた(図3)。

MDRA：定点当たり報告数 -

定点当たり報告数は、報告数が極めて少ないため傾向の把握が困難である。今月の報告は無かった(図4)。

薬剤耐性菌感染症について(2月)





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>)からの引用です。

国立感染症研究所・感染症疫学センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

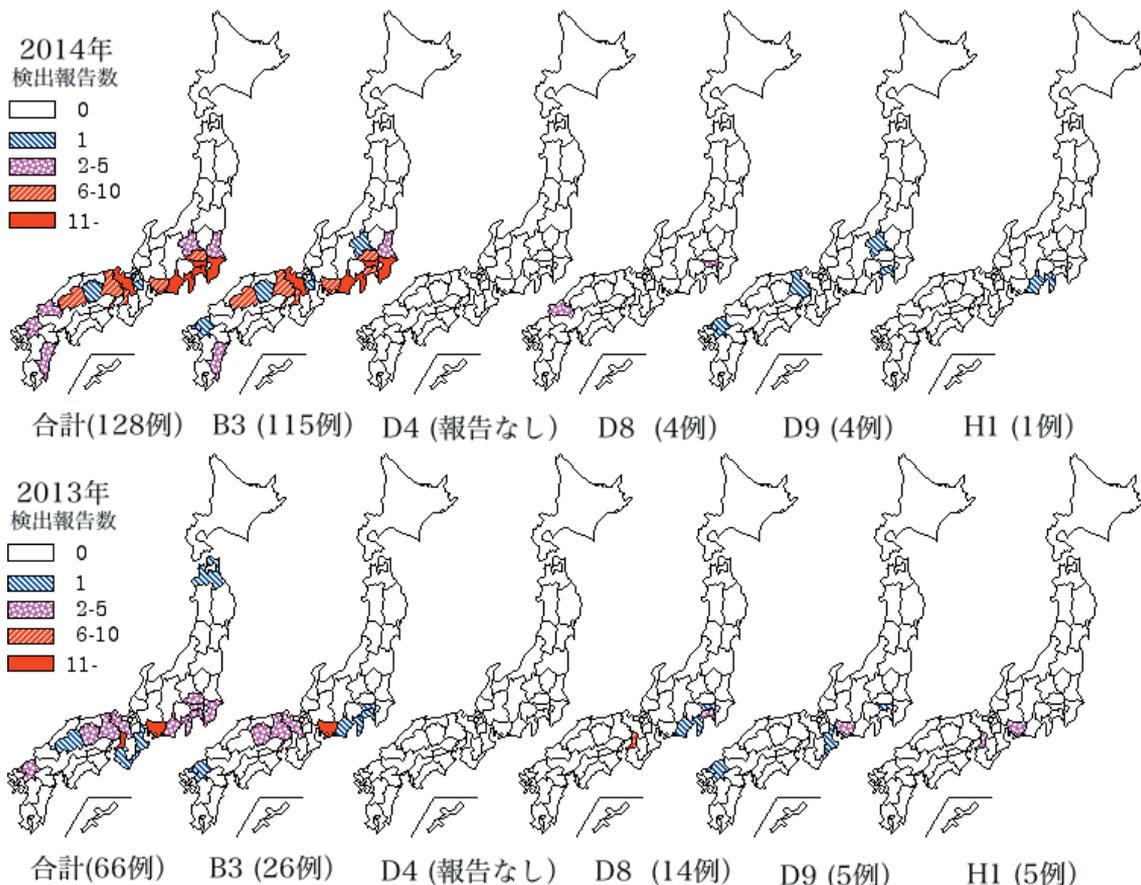
(2014年3月18日現在報告分)

麻疹ウイルス 2013～2014年

2014年1月～3月までに、麻疹ウイルスの分離・検出が計128例報告されている。遺伝子型の内訳は、B3型が115例(東京都23例、京都府17例、静岡県13例、千葉県12例、神奈川県10例、広島県7例、埼玉県、愛知県、大阪府、兵庫県各6例、宮崎県3例、茨城県2例、群馬県、滋賀県、岡山県、福岡県各1例)、D8型が4例(東京都、山口県各2例)、D9型が4例(群馬県、神奈川県、兵庫県、福岡県各1例)、H1型が1例(静岡県)、この他にA型(ワクチンタイプ)1例、未型別3例。このうち渡航歴がある症例からの分離・検出が、B3型37例(フィリピン36例、米国1例)、D8型が2例(インドネシア、ベトナム/マレーシア各1例)、D9型が3例(インドネシア2例、フィリピン1例)、H1型が1例(ベトナム)報告されている。

都道府県別麻疹ウイルス分離・検出報告状況、2013&2014年

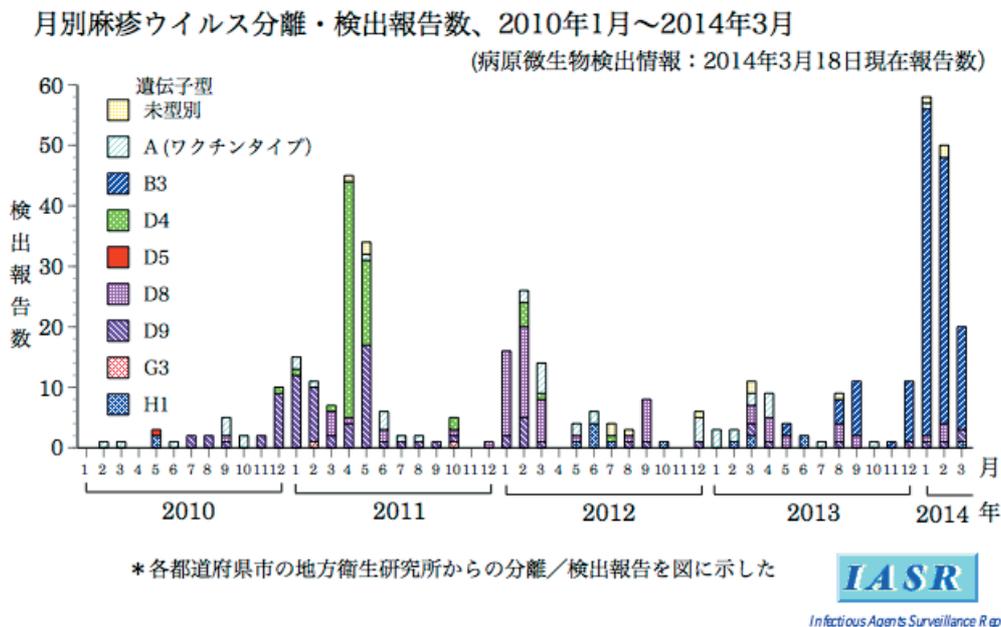
(病原微生物検出情報：2014年3月18日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



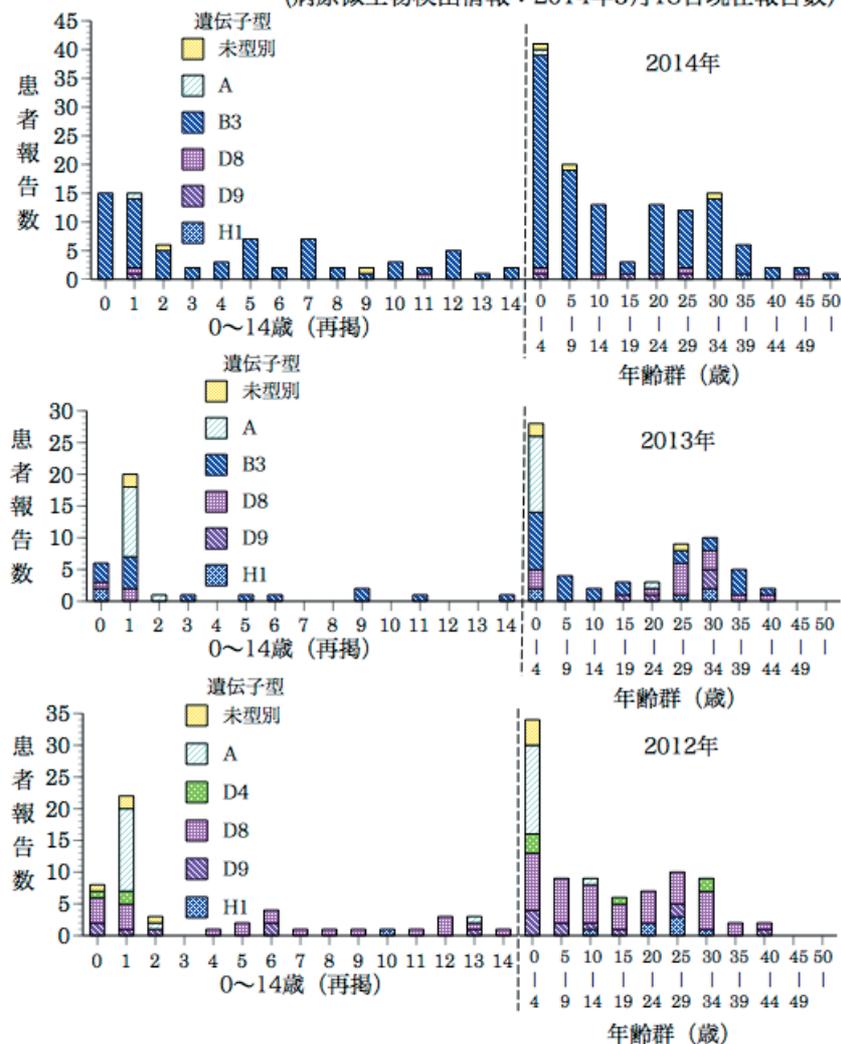
ちなみに2013年の麻疹ウイルスの分離・検出は計66例報告されている。遺伝子型の内訳は、B3型が26例(愛知県14例、京都府4例、兵庫県、岡山県各2例、東京都、神奈川県、静岡県、福岡県各1例)、D8型が14例(大阪府9例、神奈川県3例、東京都、静岡県各1例)、D9型が5例(愛知県2例、東京都、三重県、福岡県各1例)、H1型が5例(大阪府3例、愛知県2例)、この他にA型(ワクチンタイプ)13例、未型別3例。



海外渡航者からの麻疹ウイルスの検出(IASR速報 : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/measles-m/measles-iasrs/4419-pr4093.html>)や輸入例からの麻疹の集団発生(IASR速報 : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/measles-m/measles-iasrs/4494-pr4101.html>)が報告されている。

麻疹ウイルス分離・検出例の年齢分布, 2012～2014年

(病原微生物検出情報: 2014年3月18日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

麻疹ウイルス検出例の年齢分布は幅広く、子供も成人も麻疹に注意が必要である。

麻疹ウイルス分離・検出速報は <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-measles.html> を参照ください。



高槻市における2014(平成26)年2月の麻しんの発生状況と対応について

はじめに：本市は、大阪と京都の中間に位置する人口約36万人の都市であり、2003(平成15)年に中核市へ移行し、市保健所が設置された。保健所では、麻しんの発生届が提出されると、全例、大阪府立公衆衛生研究所(以下、公衛研)にPCR検査を依頼し、陰性の場合は医療機関に発生届の取り下げを依頼するなど、検査診断を徹底させてきた。結果、麻しんPCRが陽性となったのは、2009～2013(平成21～25)年の5年間で1件(平成24年)だけであった。この1件はヨーロッパからの輸入麻しん(成人女性)事例だったが、初発患者からの感染の拡がりはみられなかった。

初発患者の発生：2014(平成26)年に入り、全国で輸入麻しんの報告が多くなったため、本市でも警戒していたが、2月4日、総合病院小児科から臨床診断による麻しんの発生届が提出された。患者はMRワクチン未接種の4歳男児で、家族で海外に滞在し、1月17日に帰国していた。すでにカタル期は過ぎており、発疹と高熱が出現していた。病院では麻しん抗体の検査を実施していたが、保健所では直ちにEDTA血等を公衛研に搬送し、PCR検査を依頼した。2月7日、IgM 13.8、PCR陽性と判明、麻しんと検査診断された。

保健所の家族への初期対応：2月4日以降、医療機関および保健所は、患者家族に麻しんについて説明し、接触者の健康調査の必要性についての理解を得ていた。

- (1) 保健所では、直ちに患児の通っている保育所を訪問し、調査を開始した。患児はカタル症状が出る前に、喘息で保育所を休んでおり、保育所での感染拡大の可能性は少ないことが判明したが、念のため、麻しん患者発生のポスター掲示、および2週間の健康調査を依頼した。
- (2) 患者は感染可能期間中は外出等もしておらず、特に接触のある友人等もなかったが、2人の弟(2歳児と6カ月児)がMRワクチン未接種であるため、家族には近日中に発症する可能性が非常に高いことを説明し、受診の際には、事前に医療機関に電話連絡するように依頼した。

医療機関への依頼：医療機関には次の2点の協力依頼をした。

- (1) 麻しん感染の疑いの方が受診する際に動線を一般の患者と分ける。医療機関玄関に添付するポスターを配布し、患者が外から医療機関に電話をし、車で待機するよう指示した。
- (2) 初発患者が受診した医療機関には、受診時に待合室等に居合わせた患者に電話連絡し、事情を説明したうえで、ワクチン接種の有無を聞き合わせ、無しの場合は潜伏期が過ぎるまで外出等を控えることを説明するよう依頼した。

初発患児からの市内での感染拡大と終息：2月8日の時点で、患児の弟2人は、すでにカタル様症状を呈しており、早期に検査を行った。医療機関実施のIgM抗体はまだ陰性の段階であったが、公衛研に依頼したPCRが陽性と判明したため、2月10日に2名の発生届を収受した。

初発患者が受診した医療機関では、接触者リストを作成し対応しており、うち6名が発症したとして、発生届を提出した(2月15日～2月20日)。6名全員のPCR検査を実施したが、4名が陽性、2名が陰性であった。陰性の患者の発生届は取り下げとなった。また、2月15日に発生届の受理された患児の双子の妹の感染が確認され、2月22日に発生届が提出された。患者の行動調査を徹底して行なうなか、3名の疑わしい症例の発生が報告されたが、いずれも抗体検査またはPCR

検査で麻疹感染は否定された。それをうけて、最後の感染可能接触日が2月14日となった。よって、潜伏期も考慮し、この一連の麻疹事例からの新たな発症は無いとして、3月11日に感染の終息と判断した。

PCR検査の結果、8例の陽性例はすべてB3型と判明している。

麻疹患者は下表の通りである(*8は4の双生児の妹であるが、2/15から2/22の間で月齢があがっている)。

表. 麻疹患者

		届出	性別	年齢	MR接種歴
1	初発患者	2/4	男	4歳	無し
2	1の弟	2/10	男	2歳	無し
3	1の弟	2/10	男	6カ月	無し
4	1から感染	2/15	女	8カ月*	無し
5	1から感染	2/15	女	10カ月	無し
6	1から感染	2/17	男	9カ月	無し
7	1から感染	2/20	女	33歳	無し
8	4の妹	2/22	女	9カ月*	無し

高槻市の一般市民への対策：感染拡大時に、市民に広く感染防御の対策をする必要があると考え、また、8名の発症者が全員MRワクチン未接種者であったことを受け、次のような対策を行った。

- (1) 保育所等にポスターを配布したり、高槻市ホームページに掲載して、I期、II期のMRワクチン接種対象者は早急に受けるように広報した。担当課からI期対象者でまだ接種していない児に個別通知による接種勧奨をした。
- (2) 保育所・幼稚園等には、通所(園)児のワクチン接種歴、り患歴を把握するよう依頼した。
- (3) I期MRワクチン未接種幼児(満2歳～5歳)にワクチン接種を緊急に接種するために、緊急助成事業を立ち上げた(期間は3月3日～31日、無料)。対象児には個別通知をし、保育所・幼稚園等に接種勧奨の協力を依頼した。

考 察

- (1) 医療機関での感染防止対策、保健師による発症者の行動調査および接触者の健康調査等を徹底して行うことで、早期に感染を終息に導くことができた。医療機関の協力が大きく影響した。
- (2) 全国では、現在も麻疹発症の報告(輸入麻疹とそれに連なる国内感染)が続いている。I期MRワクチン未接種幼児に無料で予防接種を実施することで、抗体保有者を増加させ、乳幼児の感染を防ぐとともに、高槻市における集団免疫力を高めていけると考える。

高槻市保健所

中川直子 山下茂信 池田貴日正 山田由紀子 菅田幸子 森 めぐみ 村田美穂

岩村浩一 森定一稔 高野正子

大阪府立公衆衛生研究所

(IASR 2014年4月号掲載予定記事)



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

鳥インフルエンザA(H7N9)の発生状況について(更新31)

2014年3月17日 WHO(GAR)

3月17日付けで公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、中国の国家衛生・計画出産委員会は、3月14日、鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスに感染したと確定された患者が2人発生したとWHOに報告しました。

患者の詳細は以下の通りです。

- ・安徽省合肥市の86歳の男性。3月7日に発症し、3月10日に病院に入院しました。現在の容態は重篤です。
- ・広東省深圳(しんせん)市の57歳の男性。3月8日に発症し、3月13日に病院に入院しました。現在の容態は重症です。

中国政府は、サーベイランス及び状況分析の強化、患者管理と治療の強化、市民とのリスクコミュニケーションや情報提供の実施といった対策を行っています。

全体的なリスク評価は変わっていません。

中国から香港に輸入された生きた家きんから鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスが検出されたと報告されており、生きた家きんからウイルスの感染が広がる可能性はありますが、現時点では、鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスが国際的に広がってはいません。しかし、家きんでは、ウイルスに感染しても症状が出ないため、継続的な監視が必要です。

これまでに鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスに感染した患者が報告された地域及びその近隣の地域では、今後も患者が散発的に発生することが予想されます。

感染が起きている国からの感染者が、他の国に滞在中または到着後に発見される場合がありますが、人の間でウイルスが容易に感染するものではないので、患者が発見された場合でも地域レベルで感染が広がる可能性は低いです。ウイルスが効率的に人から人へと感染していないので、渡航者によってH7N9が国際的に広がる危険性は低いままです。

WHOは、鳥インフルエンザが発生している国への渡航者に対し、農場への立ち入りや、生きた家きんのいる市場での動物との接触、家きんをと殺する場所への立ち入り、家きんやその他の動物の排泄物で汚染されていると考えられる地表との接触を避けるよう助言しています。また、渡航者は石鹸と水で手をよく洗い、食品の安全と衛生習慣を遵守すべきです。

WHOは、この事例に関して、入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

鳥インフルエンザが懸念される地域を渡航している者や、その地域から帰国した者が重症の急性呼吸器症状を発症した場合には、常に鳥インフルエンザへの感染を考慮すべきです。

WHOは、重症急性呼吸器感染症のサーベイランスを含むインフルエンザのサーベイランスの強化を継続するよう求めています。また、国際保健規則に基づき、人の感染例の報告を確実にを行うために、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討し、国の保健に関連した事前計画の実行を継続するよう求めています。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新8)

2014年3月17日 WHO(GAR)

3月17日付けで公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、サウジアラビアの保健省は、2月26日と3月6日にMERS(マーズ)コロナウイルスに感染した確定患者が新たに2人発生した

と公表しました。

患者の詳細は以下の通りです。

- ・ リヤド(Riyadh)の56歳の女性で基礎疾患(持病)がありました。2月12日に発症し、2月22日に病院に入院しました。この患者には、動物との接触歴やMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者との接触歴はありませんでした。
- ・ リヤドの86歳の男性で、発症していない感染者です。以前にMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者との接触歴があったと報告されています。

全体として、2012年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は191人で、このうち82人が死亡しました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討するよう推奨しています。

医療機関でMERSコロナウイルスに感染するかもしれないため、感染予防・制御を強化し続ける必要があります。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。すべての医療従事者に対して感染予防・制御に関する教育と訓練を定期的実施すべきです。

MERSコロナウイルスの早期発見は重要ですが、特に軽症の場合や、所見が非典型的である場合など、すべての患者を確実にかつ適時に発見できるわけではありません。そのため、MERSコロナウイルスや他の病原体に感染した疑いがある患者や確定患者の有無にかかわらず、常に、どの場所でも、すべての患者に対して標準予防策を実施することが重要です。

急性呼吸器感染症の症状のある患者に医療を提供する際には、飛沫予防策を追加すべきです。また、MERSコロナウイルスに感染した可能性がある患者や確定患者に医療を提供する際には、眼の防護を加えた接触予防策を追加すべきです。エアロゾル(微粒子)が発生するような処置を行う場合には、空気予防策を行う必要があります。

臨床的にも疫学的にもMERSコロナウイルスの感染が強く疑われる場合には、その患者の最初の鼻咽頭スワブ(ぬぐい液)の検査が陰性であっても、感染している可能性があるとして管理すべきです。最初の検査が陰性であっても、再検査を行うべきで、下気道からの検体が望ましいです。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

MERSコロナウイルスに感染して重症となるリスクが高い人は、ウイルスが存在する可能性があると思われる農場や飼育小屋を訪れる際に、動物との接触を避けるべきです。一般市民は、農場を訪れる際に、動物を触る前と触った後の定期的な手洗いを行う、病気の動物との接触を避ける、食品衛生対策を実施する等の一般的な衛生対策をしっかりと実施すべきです。

WHOは、この事例に関して、入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

カメルーンにおけるポリオの発生状況について

2014年3月17日 WHO(GAR)

3月17日付で世界保健機関(WHO)から公表された情報によりますと、カメルーンで野生株ポリオウイルス1型に感染した患者が3人報告されました。患者が麻痺を発症した日は、1月6日、1月25日、1月31日です。患者は北西州、アダマワ州、中央州の3州から報告されており、2013年10月に4人の患者が発見されて以降、野生株ポリオウイルスの伝播と地理的な拡大が続いていることが確認されました。これまでに、西部州、北西州、中央州、アダマワ州の4州から合計7人の患者が報告されており、患者が麻痺を発症した日は2013年10月1日から2014年1月31日までの間でした。ウイルスの遺伝子解析結果は、長期間に渡ってポリオウイルスの伝播が発見されていなかったことを示しています。カメルーンでポリオウイルスの伝播が持続しており、地域のサーベイランスの格差があり、中央アフリカからの脆弱な難民が流入しているため、WHOはカメルーンからポリオが国際的に広がるリスク評価は非常に高いとしています。

2013年10月に患者が発生したことを踏まえ、カメルーンでは全国の予防接種キャンペーンが3回行われ、3月9日に4回目のキャンペーンが始まりました。個別の監視結果は若干改善傾向を示しているものの、介入と監視の両方において緊急に対処すべき質の格差があります。地域の特性は様々です。子どもが予防接種を受けていない主な理由は家庭訪問を受けていないことでした(予防接種を受けていない子どもの43%の理由でした)。全体的な集団免疫の分析(6か月から5歳未満のポリオではない急性弛緩性麻痺患者のデータ)では子どもの40%が予防接種を受けていない(30%が1度も経口ポリオワクチンの接種を受けていない)ことを示しています。伝播の持続と拡大は、集団発生に対応する能力に重大な格差があることを示しています。

新たな患者が確認されたことにより、4月に実施される予定であった地域の予防接種キャンペーンが全国的なキャンペーンとなり、5月と6月にも全国的なキャンペーンが実施される予定であるなど、緊急対応活動が計画されています。活動の成功には、すべての子どもに複数回の経口ポリオワクチンを接種するようにキャンペーンの質を改善させることが重要です。同様に、集団発生の規模を把握し、追跡するためのサーベイランスの質を速やかに向上させるための取組も重要です。

新たなポリオウイルスの輸入を迅速に検出し、速やかに対応するために、すべての国(特にポリオウイルスの感染が起こっている国・地域と頻繁に往来がある国)で急性弛緩性麻痺のサーベイランスを強化することが重要です。また、国・地域では、新たなウイルスの輸入を最小限にするために、地区レベルにおける定期的な予防接種の接種率を一律に高い水準に保つべきです。

WHOの「国際渡航と健康(International Travel and Health)」では、ポリオの発生地域に行くすべての渡航者と、発生地域から出るすべての渡航者に対し、ポリオワクチンを規定の回数分接種することを推奨しています。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新9)

2014年3月18日 WHO(GAR)

3月18日付けで公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、サウジアラビアの保健省は、3月14日、MERS(マーズ)コロナウイルスに感染した確定患者が新たに5人発生したと公表しました。

患者の詳細は以下の通りです。

- ・ リヤド(Riyadh)の83歳の男性で、基礎疾患(持病)がありました。2月24日に発症し、3月1日

に病院に入院しました。現在の容態は重篤です。この患者には、動物との接触歴やMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者との接触歴はありませんでした。

- ・ リヤドの19歳の男性で、基礎疾患がありました。3月1日に発症し、3月7日に入院しましたが、その後間もなく死亡しました。この患者には、ラクダを含む動物との接触歴がありました。
- ・ リヤドの22歳の女性。3月10日に軽度の症状が出現し、容態は安定しています。この患者は上記の19歳の男性患者との接触歴がありました。
- ・ リヤドの18歳の女性。3月14日に軽度の症状が出現し、回復しました。この患者も19歳の男性患者との接触歴がありました。
- ・ リヤドの53歳の男性。発症していない感染者です。この患者も19歳の男性患者との接触歴がありました。

全体として、2012年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は196人で、このうち83人が死亡しました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討するよう推奨しています。

医療機関でMERSコロナウイルスに感染するかもしれないため、感染予防・制御を強化し続ける必要があります。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。すべての医療従事者に対して感染予防・制御に関する教育と訓練を定期的実施すべきです。

MERSコロナウイルスに感染した患者の中には、軽症の患者や、所見が非典型的である患者があり、患者を常に早期に発見できるわけではありません。そのため、MERSコロナウイルスや他の病原体に感染した疑いがある患者や確定患者の有無にかかわらず、常に、どの場所でも、すべての患者に対して標準予防策を実施することが重要です。

急性呼吸器感染症の症状のある患者に医療を提供する際には、飛沫予防策を追加すべきです。また、MERSコロナウイルスに感染した可能性がある患者や確定患者に医療を提供する際には、眼の防護を加えた接触予防策を追加すべきです。エアロゾル(微粒子)が発生するような処置を行う場合には、空気予防策を行う必要があります。

臨床的にも疫学的にもMERSコロナウイルスの感染が強く疑われる場合には、その患者の最初の鼻咽頭スワブ(ぬぐい液)の検査が陰性であっても、感染している可能性があるとして管理すべきです。最初の検査が陰性であっても、再検査を行うべきで、下気道からの検体が望ましいです。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

MERSコロナウイルスに感染して重症となるリスクが高い人は、ウイルスが存在する可能性があると思われる農場や飼育小屋を訪れる際に、動物との接触を避けるべきです。一般市民は、農場を訪れる際に、動物を触る前と触った後の定期的な手洗いを行う、病気の動物との接触を避ける、食品衛生対策を実施する等の一般的な衛生対策をしっかりと実施すべきです。

WHOは、この事例に関して、入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

鳥インフルエンザA(H7N9)の発生状況について(更新32)

2014年3月20日 WHO(GAR)

3月20日付けで公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、香港特別行政区の衛生防護センターは、3月17日、鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスに感染したと確定された患者が1人発生したとWHOに報告しました。また、中国の国家衛生・計画出産委員会は、3月19日、鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスに感染したと確定された患者が3人発生したとWHOに報告しました。

患者の詳細は以下の通りです。

- ・ 広東省仏山市の5か月の女兒。発症前に広東省深圳(しんせん)市に滞在していました。3月16日に発症し、同日に香港に渡航し、その後入院しました。3月17日に確定診断され、現在の容態は安定しています。
- ・ 広東省深圳市の71歳の女性。3月5日に発症し、3月15日に病院に入院しました。現在の容態は重症です。この患者には、家きんとの接触歴がありました。
- ・ 広東省深圳市の73歳の男性。3月10日に発症し、3月17日に病院に入院しました。現在の容態は重篤です。この患者には、家きんとの接触歴がありました。
- ・ 湖南省郴州(ちんしゅう)市の75歳の女性。3月10日に発症しました。現在、入院中ですが、容態は安定しています。

中国政府は、サーベイランス及び状況分析の強化、患者管理と治療の強化、市民とのリスクコミュニケーションや情報提供の実施といった対策を行っています。

全体的なリスク評価は変わっていません。

中国から香港に輸入された生きた家きんから鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスが検出されたと報告されており、生きた家きんからウイルスの感染が広がる可能性はありますが、現時点では、鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスが国際的に広がってはいません。しかし、家きんでは、ウイルスに感染しても症状が出ないため、継続的な監視が必要です。

これまでに鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスに感染した患者が報告された地域及びその近隣の地域では、今後も患者が散発的に発生することが予想されます。

感染が起きている国からの感染者が、他の国に滞在中または到着後に発見される場合がありますが、人の間でウイルスが容易に感染するものではないので、患者が発見された場合でも地域レベルで感染が広がる可能性は低いです。ウイルスが効率的に人から人へと感染していないので、渡航者によってH7N9が国際的に広がる危険性は低いままです。

WHOは、鳥インフルエンザが発生している国への渡航者に対し、農場への立ち入りや、生きた家きんのいる市場での動物との接触、家きんをと殺する場所への立ち入り、家きんやその他の動物の排泄物で汚染されていると考えられる地表との接触を避けるよう助言しています。また、渡航者は石鹸と水で手をよく洗い、食品の安全と衛生習慣を遵守すべきです。

WHOは、この事例に関して、入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

鳥インフルエンザが懸念される地域を渡航している者や、その地域から帰国した者が重症の急性呼吸器症状を発症した場合には、常に鳥インフルエンザへの感染を考慮すべきです。

WHOは、重症急性呼吸器感染症のサーベイランスを含むインフルエンザのサーベイランスの強化を継続するよう求めています。また、国際保健規則に基づき、人の感染例の報告を確実にを行うために、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討し、国の保健に関連した事前計画の実行を継続するよう求めています。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新10)

2014年3月20日 WHO(GAR)

3月20日付けで公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、WHOは、3月18日、MERS (マーズ) コロナウイルスに感染した確定患者が新たに2人発生したと報告を受けました。1人はクウェートの国際保健規則の担当から報告され、他の1人はアラブ首長国連邦の国際保健規則の担当から報告されました。

クウェートから報告された患者の詳細は以下の通りです。

- ・ シリア国籍の60歳の男性。2月13日にクウェートにある病院に入院しましたが、3月6日に死亡しました。この患者には基礎疾患(持病) がありました。3月9日にMERSコロナウイルスに感染したと確定されました。患者の濃厚接触者はすべて経過観察されています。

アラブ首長国連邦から報告された患者の詳細は以下の通りです。

- ・ アブダビ(Abu Dhabi) の68歳の男性で、基礎疾患がありました。3月7日に発症し、3月11日に指の怪我のために入院しました。症状は軽症です。3月17日にMERSコロナウイルスに感染したと確定されました。この患者は入院する5日前にサウジアラビアから帰国しました。この患者は、サウジアラビアでラクダを飼育している農場を所有しており、頻りにサウジアラビアに行っていました。公衆衛生当局は、接触者の追跡調査と疫学調査を実施しています。

全体として、2012年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は198人で、このうち84人が死亡しました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI) のサーベイランスを継続し、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討するよう推奨しています。

医療機関でMERSコロナウイルスに感染するかもしれないため、感染予防・制御を強化し続ける必要があります。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。すべての医療従事者に対して感染予防・制御に関する教育と訓練を定期的実施すべきです。

MERSコロナウイルスに感染した患者の中には、軽症の患者や、所見が非典型的である患者がおり、患者を常に早期に発見できるわけではありません。そのため、MERSコロナウイルスや他の病原体に感染した疑いがある患者や確定患者の有無にかかわらず、常に、どの場所でも、すべての患者に対して標準予防策を実施することが重要です。

急性呼吸器感染症の症状のある患者に医療を提供する際には、飛沫予防策を追加すべきです。また、MERSコロナウイルスに感染した可能性がある患者や確定患者に医療を提供する際には、眼の防護を加えた接触予防策を追加すべきです。エアロゾル(微粒子) が発生するような処置を行う場合には、空気予防策を行う必要があります。

臨床的にも疫学的にもMERSコロナウイルスの感染が強く疑われる場合には、その患者の最初の鼻咽頭スワブ(ぬぐい液)の検査が陰性であっても、感染している可能性があるとして管理すべきです。最初の検査が陰性であっても、再検査を行うべきで、下気道からの検体が望ましいです。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

MERSコロナウイルスに感染して重症となるリスクが高い人は、ウイルスが存在する可能性があると思われる農場や飼育小屋を訪れる際に、動物との接触を避けるべきです。一般市民は、農場を訪れる際に、動物を触る前と触った後の定期的な手洗いを行う、病気の動物との接触を避ける、食品衛生対策を実施する等の一般的な衛生対策をしっかりと実施すべきです。

WHOは、この事例に関して、入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

中東におけるポリオの発生状況について

2014年3月21日 WHO(GAR)

3月21日付で世界保健機関(WHO)から公表された情報によりますと、中東では、ポリオが集団発生している地域で、集団発生を緊急に止めるための対応が続いています。シリアでは、3月20日時点で、野生株ポリオウイルス1型に感染した患者が37人報告されました。37人のうち25人はシリアの保健省から報告され、12人は紛争地域(アレッポ、イドリブ、デリゾール)の患者で公式な患者数には反映されていません。最近麻痺を発症した患者は、イドリブの患者で、発症日は2013年12月17日でした。

今週、イラクで2000年以降初めて野生株ポリオウイルス1型に感染した患者が1人報告されたことにより、この地域で感染が拡大しているという更なる根拠が確認されました。患者はバグダッドの6か月の男児で、予防接種を受けておらず、2月10日に麻痺を発症しました。遺伝子解析の結果、このウイルスはシリアで検出されたウイルスに密接に関連しています。この子どもの3歳の姉からも野生株ポリオウイルス1型が検出されましたが、発症しませんでした。イラクでは、2013年10月にシリアでポリオが確認されてから中東の緊急対応の一部を担ってきたので、この事例を迅速に制御できる見込みがあります。この事例に対応し、WHOの東地中海地域のすべての国は、合同決議で、ポリオの根絶が緊急事態であることを宣言し、現在、ポリオの予防接種を受けていない子どもが予防接種を受けられるように協議し、予防接種を実施するための支援を求めました。イラクでは、2013年10月以降、全国の予防接種キャンペーンが2回、地域の予防接種キャンペーンが3回行われ、全体的に高い水準を達成しました。地域によって差はありますが、それぞれのキャンペーンで約95%の子どもが予防接種を受けました。WHOと国連児童基金(UNICEF)は、イラクにおける定期的予防接種の接種率は2012年以降70%と推計しています。バグダッドにおける定期的予防接種の接種率は81%と推計されています。

集団発生への対応の一部として、特にシリアでは、伝播の程度を確認するために、地域のサーベイランスの感度を高くするための取組が進められています。特に、ダマスカス、アレッポ、

ホームス、ラタキア、クネイトラ、ラッカでは、地域のサーベイランスに格差があります。デリゾールを含むシリアの北東部では、サーベイランスの質が向上しています。

現在、地域における集団発生対応計画の第1段階が完了しました。2013年10月以降、この地域では、追加の予防接種活動が24回実施され、2,200万人以上の子どもが複数回の予防接種を受けました。実施された追加の予防接種活動は、エジプト(全国で2回、地域で1回)、イラク(全国で2回、地域で3回)、ヨルダン(全国で3回)、レバノン(全国で3回)、シリア(全国で5回)、トルコ(地域で3回)、ヨルダン川西岸地区とガザ地区(2回)で行われました。第2段階は4月1日に始まる予定で、全国の予防接種キャンペーンは、エジプト(4月1日から3日)、シリアとイラク(いずれも4月6日から10日)、レバノン(4月)で行われる予定です。5月にもこの地域全体で予防接種キャンペーンが行われる予定です。

イスラエルでは、環境のサーベイランスから野生株ポリオウイルス1型の検出が続いています。2013年2月3日以降、合計で186検体が陽性となり、直近では2月16日に検出されました。ヨルダン川西岸地区とガザ地区では、環境のサーベイランスで野生株ポリオウイルス1型が陽性となった検体は3検体であり、直近では2013年1月に検出されました。イスラエル、ヨルダン川西岸地区、ガザ地区では、ポリオの患者は発見されておらず、汚水の検体から野生株ポリオウイルス1型が分離されたのみです。この地域では、サーベイランスは依然として警戒水準にあり、地域内の国はポリオの可能性のある患者を積極的に発見し、経口ポリオワクチンによる推奨された追加の予防接種キャンペーンを実施するよう求められています。WHOは、この地域からポリオが国際的に広がるリスク評価は依然として高いとしています。

WHOの「国際渡航と健康(International Travel and Health)」では、ポリオの発生地域に行くすべての渡航者と、発生地域から出るすべての渡航者に対し、ポリオワクチンを規定の回数分接種することを推奨しています。

ギニアでエボラ出血熱が発生しています

2014年3月23日 WHO(AFRO)

3月23日付けで公表された世界保健機関(WHO)アフリカ地域事務局(AFRO)の情報によりますと、ギニアの保健省は、ギニアの南東部の森林地域でエボラ出血熱の集団発生が急速に広がっているとWHOに報告しました。3月22日時点で、49人の患者が報告され、そのうち29人が死亡しました(致死率は59%です)。患者は、ンゼレコレ州のゲケドゥ(Guekedou)県、マサンタ(Macenta)県、ンゼレコレ(Nzerekore)県のほか、ファラナ州のキシドゥーグー(Kissidougou)県で報告されました。さらに、首都のコナクリでは、2人の死亡者を含む3人の疑い患者について調査中です。患者のうち4人は医療従事者です。リベリアとシエラレオネとの国境でも疑い患者が報告され、調査中です。

フランスのリヨンにあるパスツール研究所で血液検体の検査が行われ、7検体のうち6検体がPCR(ポリメラーゼ連鎖反応)法でエボラウイルス陽性となり、ギニアで初めてのエボラ出血熱の集団発生が確認されました。L遺伝子の一部を解析した暫定的な結果によりますと、ザイル型と配列類似性が高いことが示されましたが、結果を確認するために更なる検査が進められています。

保健省、WHO、その他の関係機関は連携して、集団発生の制御と、感染拡大を防止するための対策を開始しました。保健省は、国レベル及び県レベルで、緊急事態を管理する委員会を立ち上げました。保健省は、一般市民に対して、疾患の拡大を防止するための対策を講じ、疑

い患者はすべて報告するように助言しています。

患者を積極的に発見し、管理するほか、接触者の追跡調査や経過観察、地域において集団発生予防及び制御に関して啓発活動を行うために、集学的なチームが現地に派遣されています。スイスの国境なき医師団は、患者が発生した地域で活動しており、隔離施設の設立を支援しているほか、疑い患者や接触者から採取された生体試料を国際的な検査機関で緊急検査するための輸送も支援しました。

危険な新興感染症の病原体を検査するためのネットワーク(Emerging and Dangerous Pathogens Laboratory Network)は、ギニアとシエラレオネで適切なフィロウィルスの診断能力を確保するため、ギニアのドンカにあるウイルス性出血熱の検査施設、リヨンのパスツール研究所、ダカールのパスツール研究所、シエラレオネのケネマにあるラッサ熱の検査施設と連携しています。

WHOと他の関係機関は、保健省を支援するため、更に専門家を動員し、派遣しています。患者管理を支援するために、必要な物資の供給や物資調達が求められており、集団発生の制御のために必要なことがすべて動員されています。

状況は急速に変化しており、報告される数字も変化すると考えられます。

WHOは、この事例に関して、ギニアへの渡航や貿易を制限することを推奨していません。

ギニアでエボラ出血熱が発生しています(更新1)

2014年3月24日 WHO(AFRO)

世界保健機関(WHO)アフリカ地域事務局(AFRO)から公表された情報によりますと、ギニアの保健省は、ギニアの南東部の森林地域でエボラ出血熱の集団発生が急速に広がっているとWHOに報告しました。3月24日時点で、86人の患者が報告され、そのうち59人が死亡しました(致死率は68.5%です)。患者は、ンゼレコレ州のゲケドゥ(Guekedou)県、マサンタ(Macenta)県、ンゼレコレ(Nzerekore)県のほか、ファラナ州のキシドゥーグー(Kissidougou)県で報告されました。さらに、首都のコナクリでは、2人の死亡者を含む3人の疑い患者について調査中です。患者のうち4人は医療従事者です。リベリアとシエラレオネとの国境でも疑い患者が報告され、調査中です。

フランスのリヨンにあるパスツール研究所で血液検体の検査が行われ、7検体のうち6検体がPCR(ポリメラーゼ連鎖反応)法でエボラウイルス陽性となり、ギニアで初めてのエボラ出血熱の集団発生が確認されました。L遺伝子の一部を解析した暫定的な結果によりますと、ザイル型と配列類似性が高いことが示されましたが、結果を確認するために更なる検査が進められています。

保健省、WHO、その他の関係機関は連携して、集団発生の制御と、感染拡大を防止するための対策を開始しました。保健省は、国レベル及び県レベルで、緊急事態を管理する委員会を立ち上げました。保健省は、一般市民に対して、疾患の拡大を防止するための対策を講じ、疑い患者はすべて報告するように助言しています。

患者を積極的に発見し、管理するほか、接触者の追跡調査や経過観察、地域において集団発生予防及び制御に関して啓発活動を行うために、集学的なチームが現地に派遣されています。スイスの国境なき医師団は、患者が発生した地域で活動しており、隔離施設の設立を支援しているほか、疑い患者や接触者から採取された生体試料を国際的な検査機関で緊急検査するための輸送も支援しました。

危険な新興感染症の病原体を検査するためのネットワーク(Emerging and Dangerous Pathogens Laboratory Network)は、ギニアとシエラレオネで適切なフィロウィルスの診断能力を確保するため、ギニアのドンカにあるウイルス性出血熱の検査施設、リヨンのパスツール研究所、ダカールのパスツール研究所、シエラレオネのケネマにあるラッサ熱の検査施設と連携しています。

WHOと他の関係機関は、保健省を支援するため、更に専門家を動員し、派遣しています。患者管理を支援するために、必要な物資の供給や物資調達が求められており、集団発生の制御のために必要なことがすべて動員されています。

状況は急速に変化しており、報告される数字も変化すると考えられます。

ギニアに渡航する方は、現地の情報に注意してください。手洗いなどの一般的な衛生対策を行ってください。また、感染した人の血液や体液、それらで汚染された可能性のあるもの、動物に触らないでください。



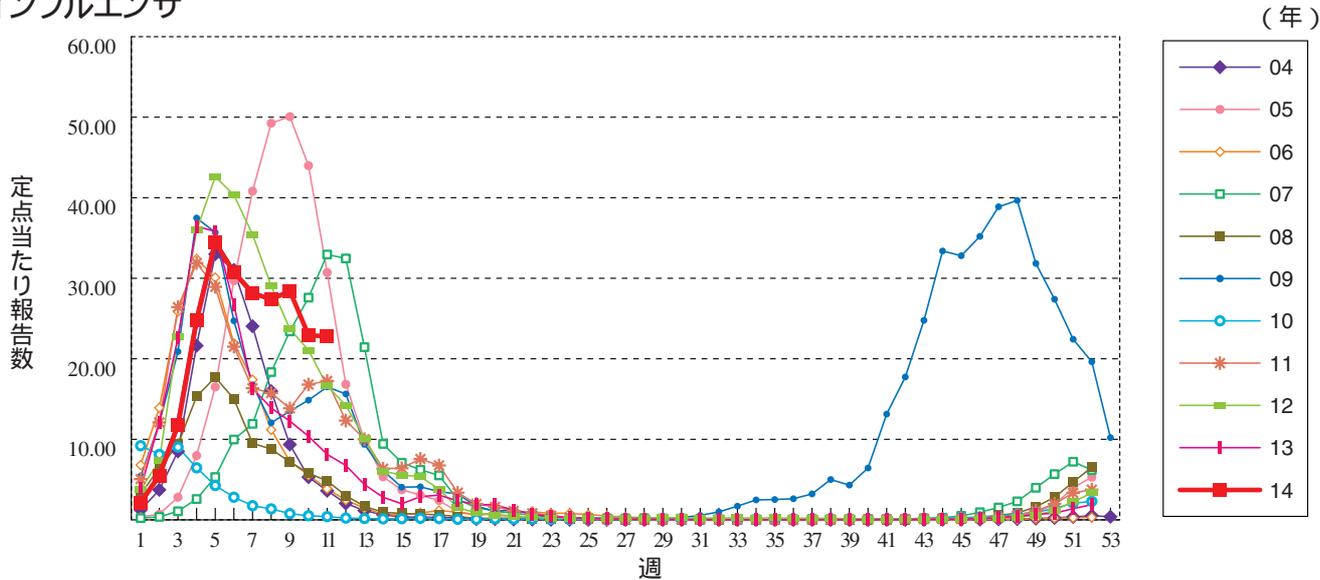
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>
でご覧いただけます。

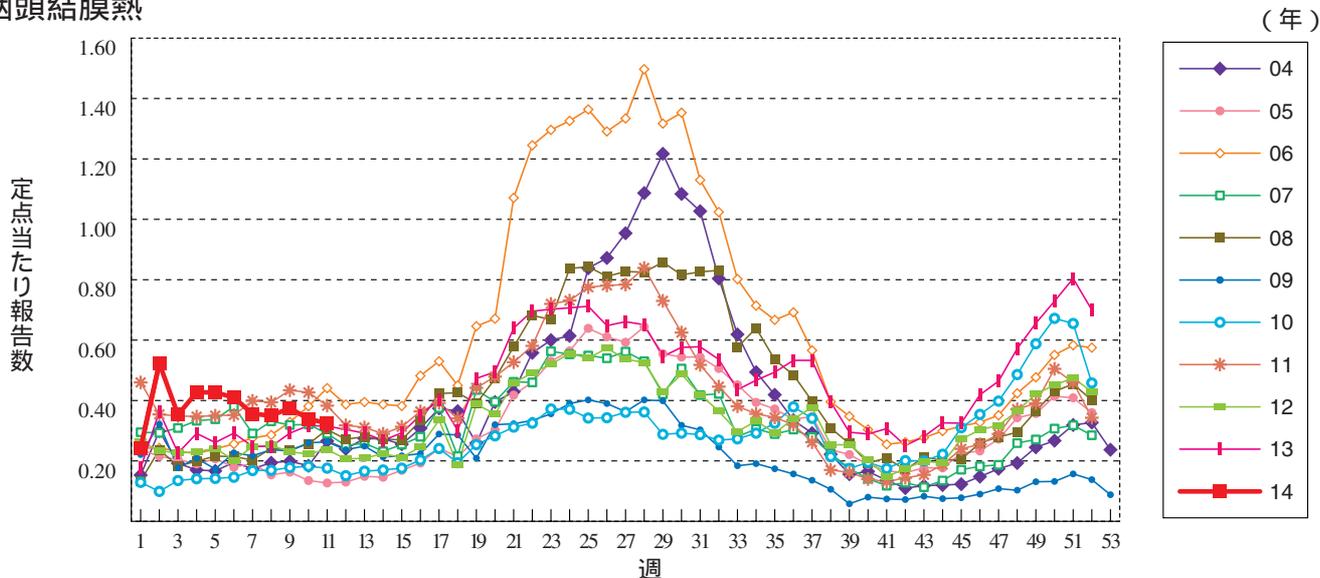


グラフ総覧(11週)

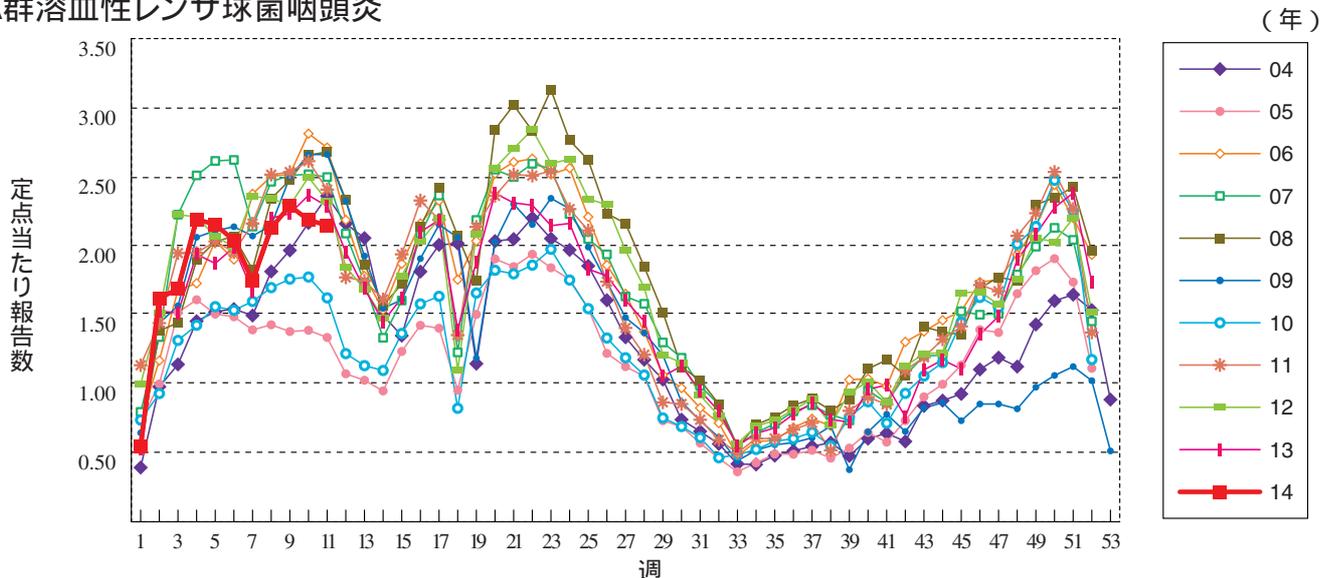
インフルエンザ



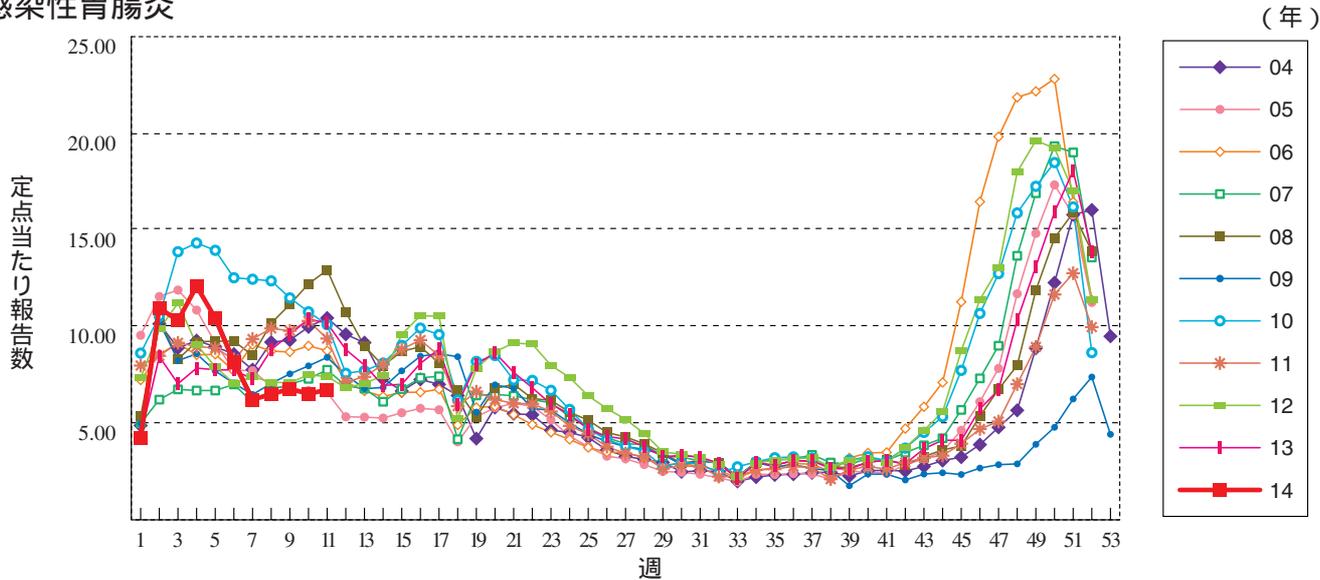
咽頭結膜熱



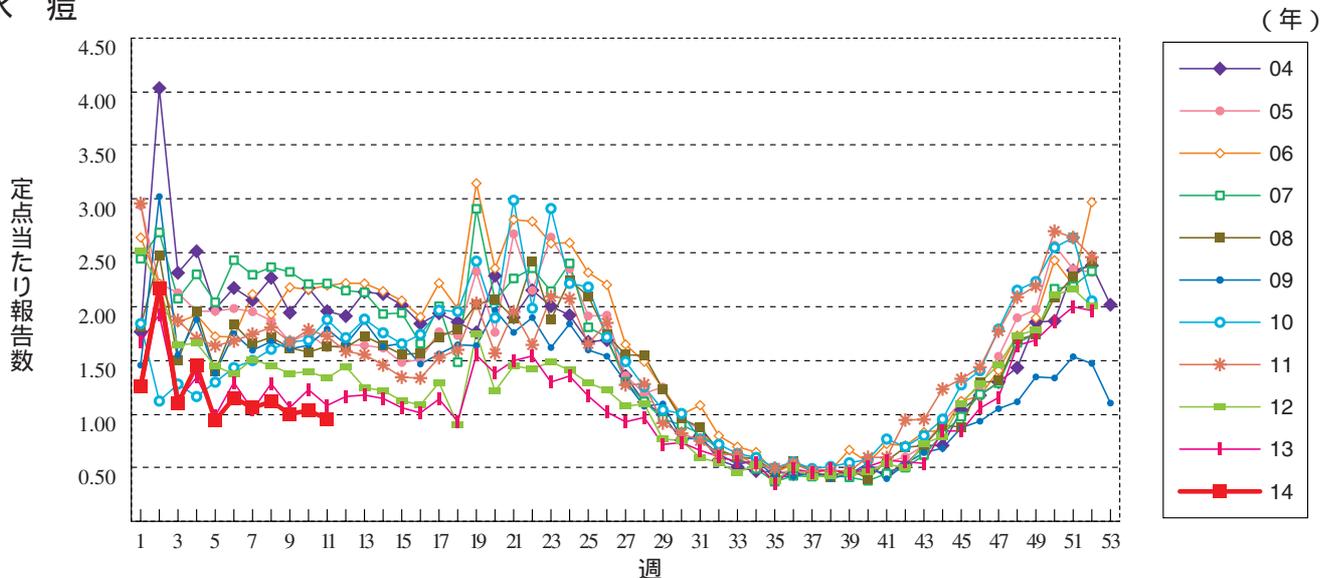
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



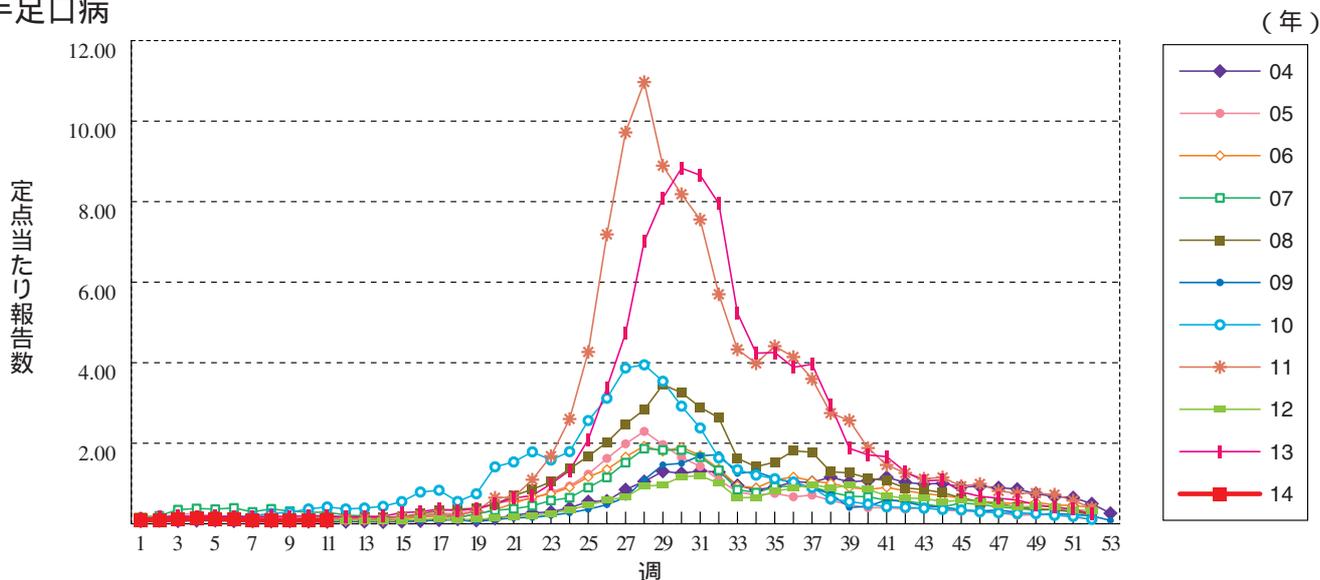
感染性胃腸炎



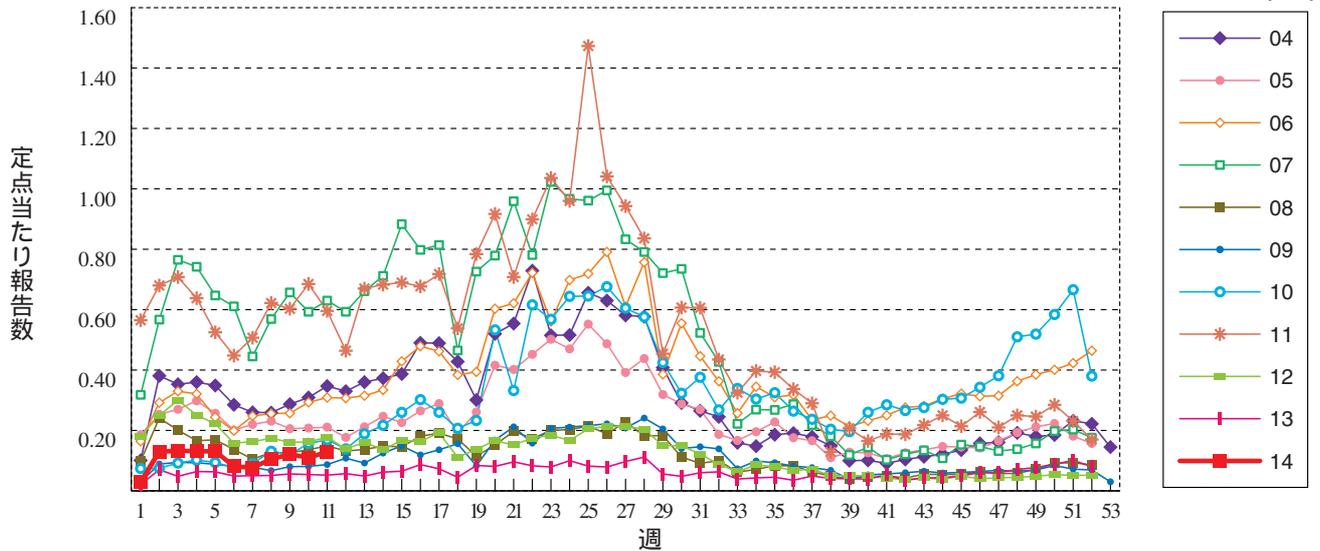
水痘



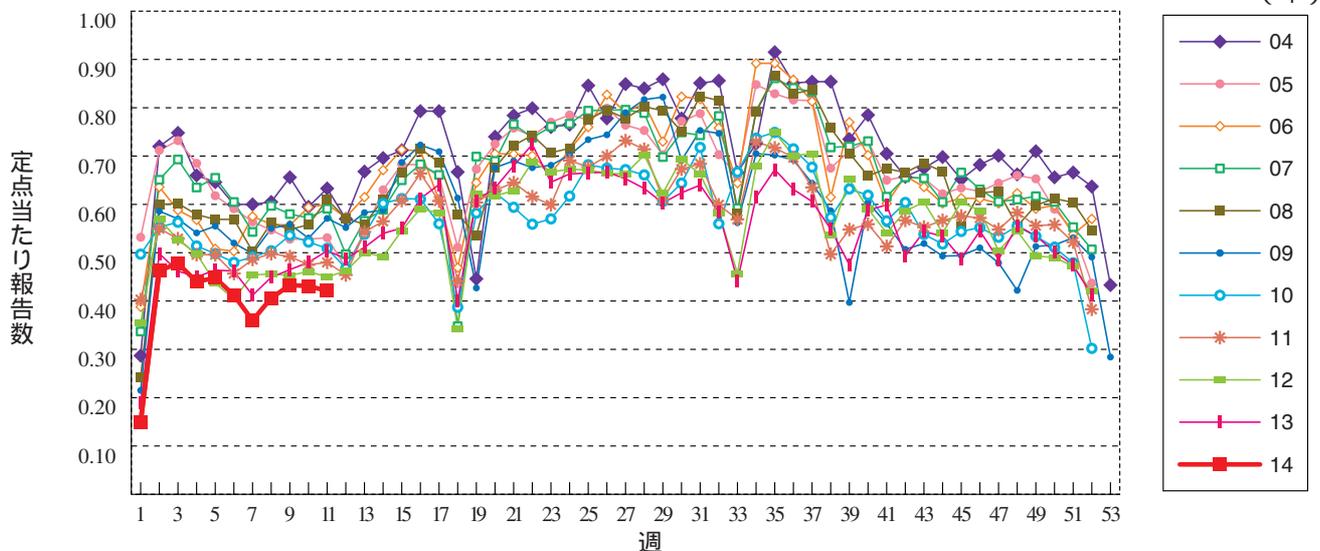
手足口病



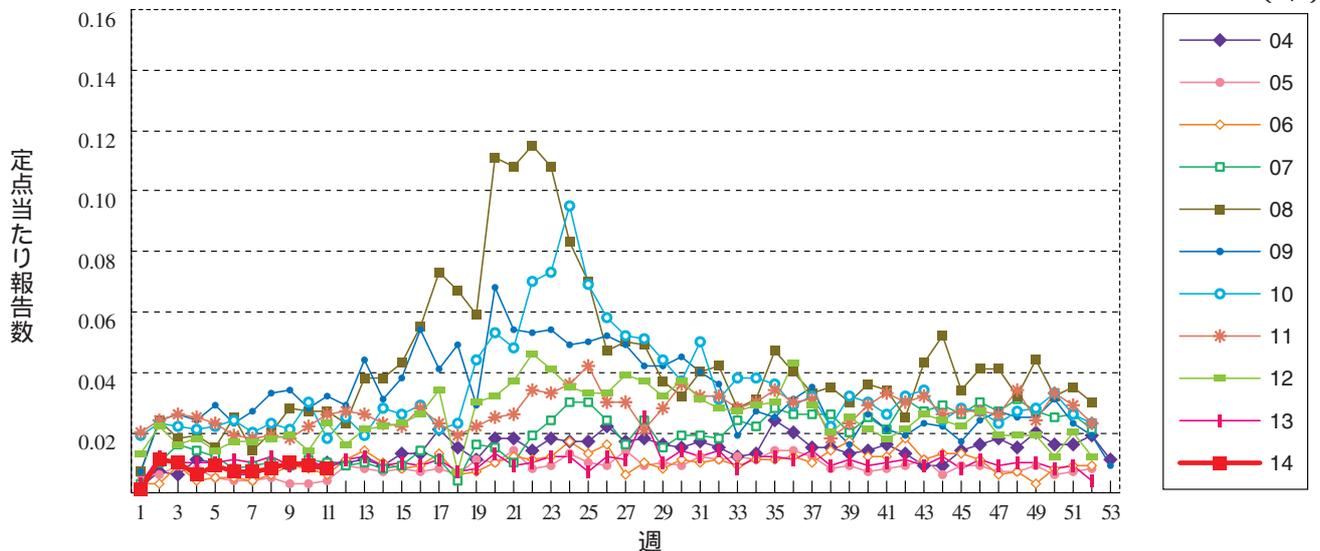
伝染性紅斑



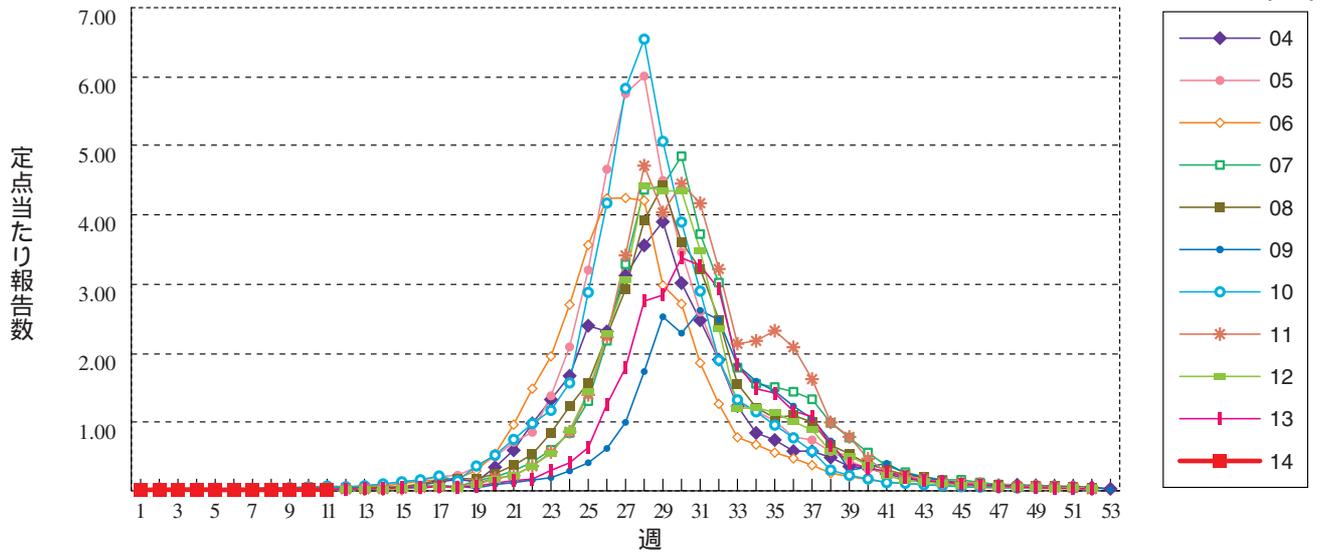
突発性発しん



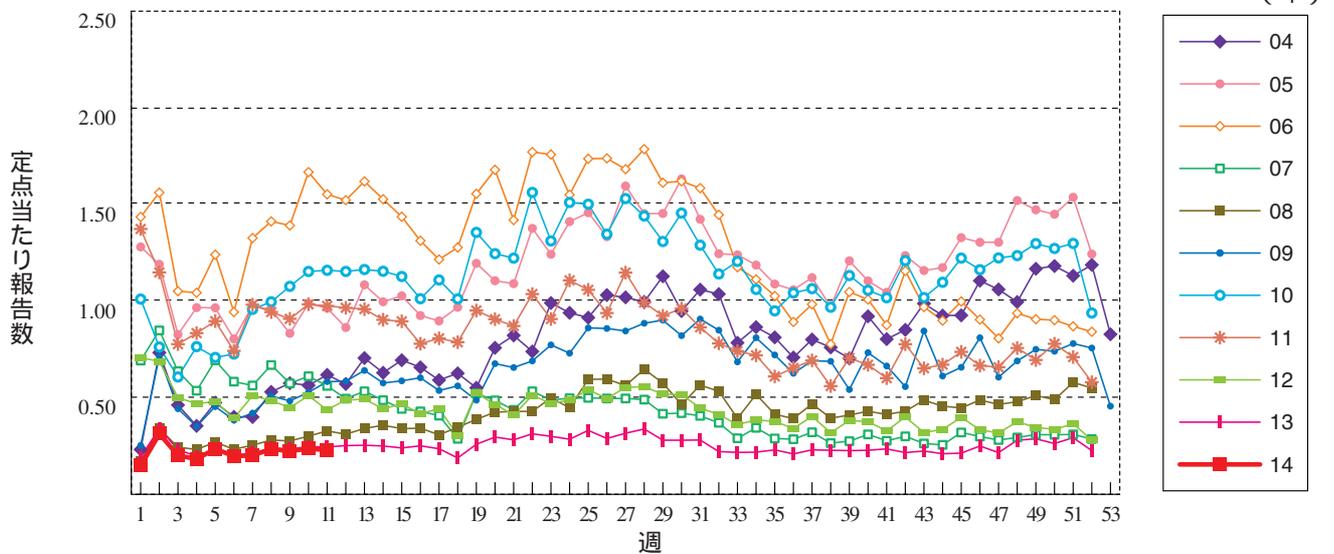
百日咳



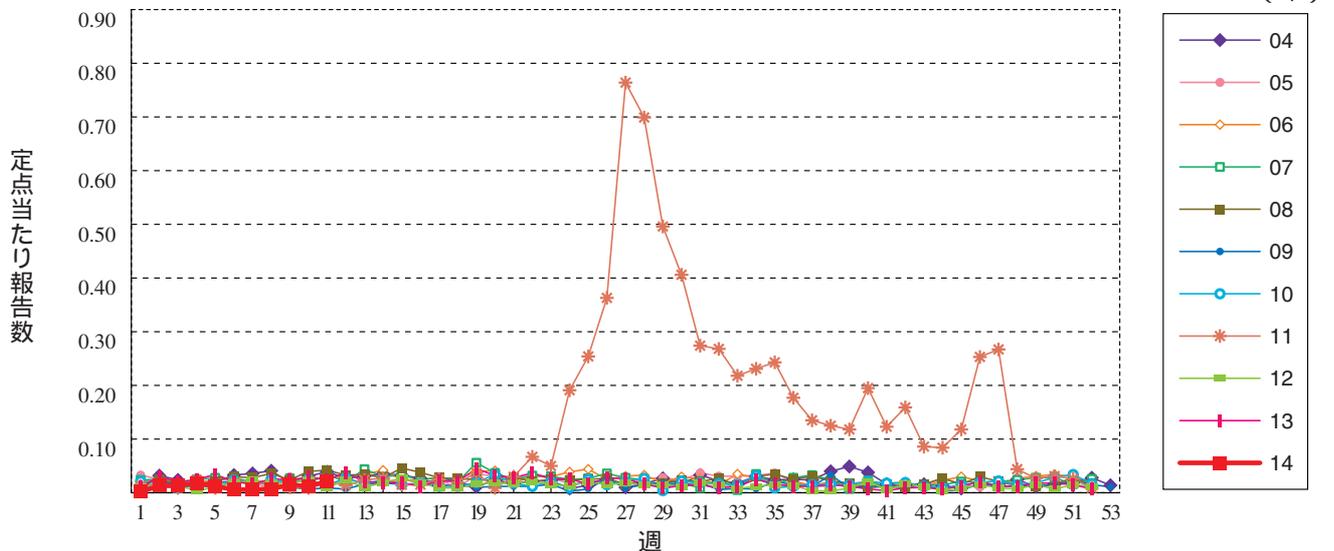
ヘルパンギーナ



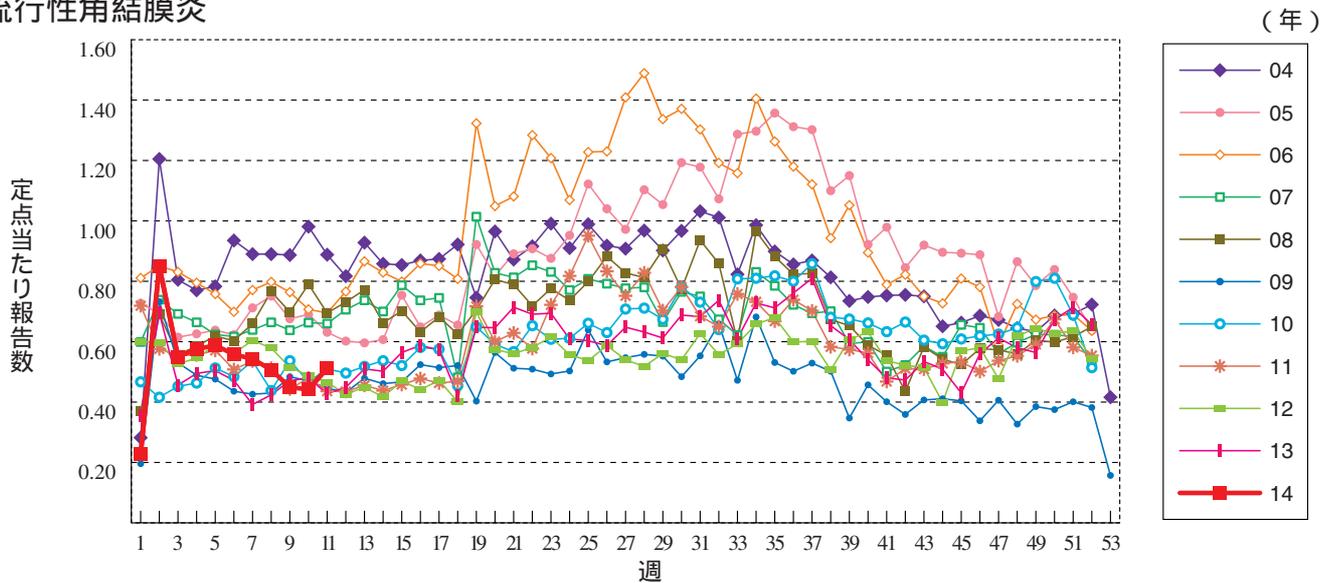
流行性耳下腺炎



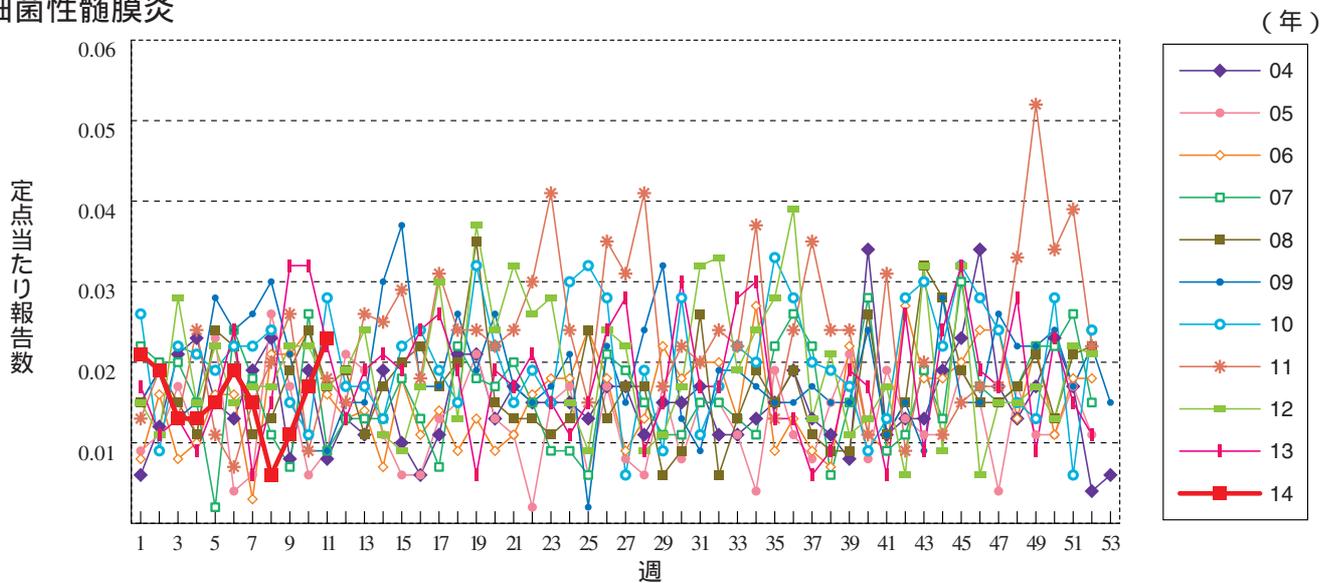
急性出血性結膜炎



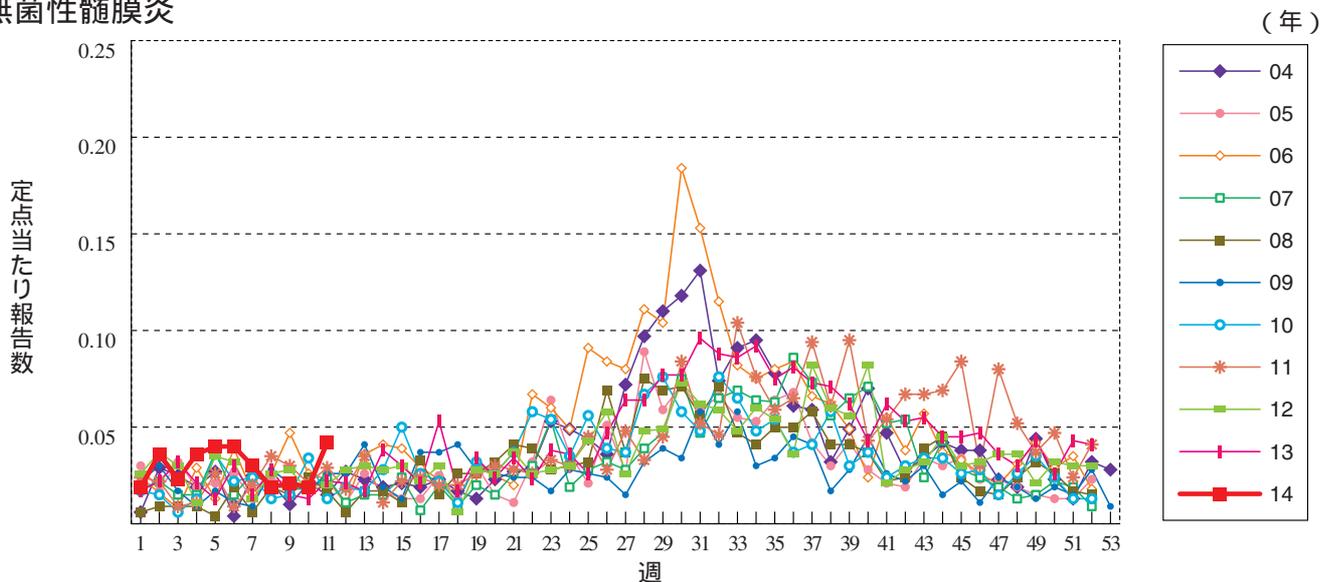
流行性角結膜炎



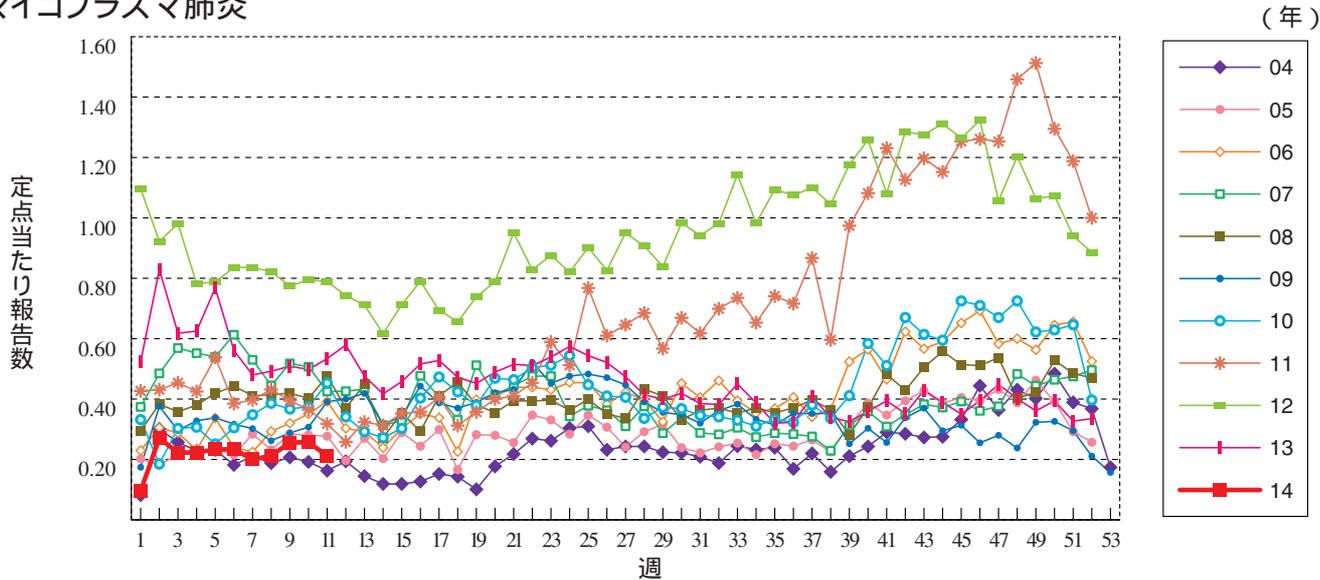
細菌性髄膜炎



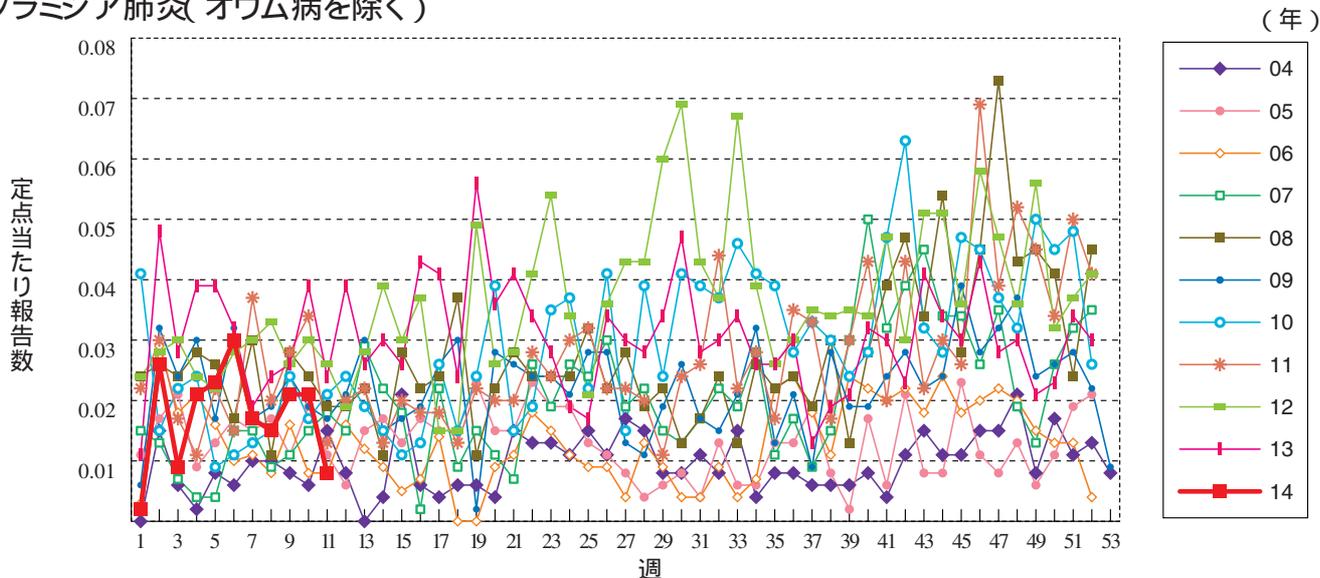
無菌性髄膜炎



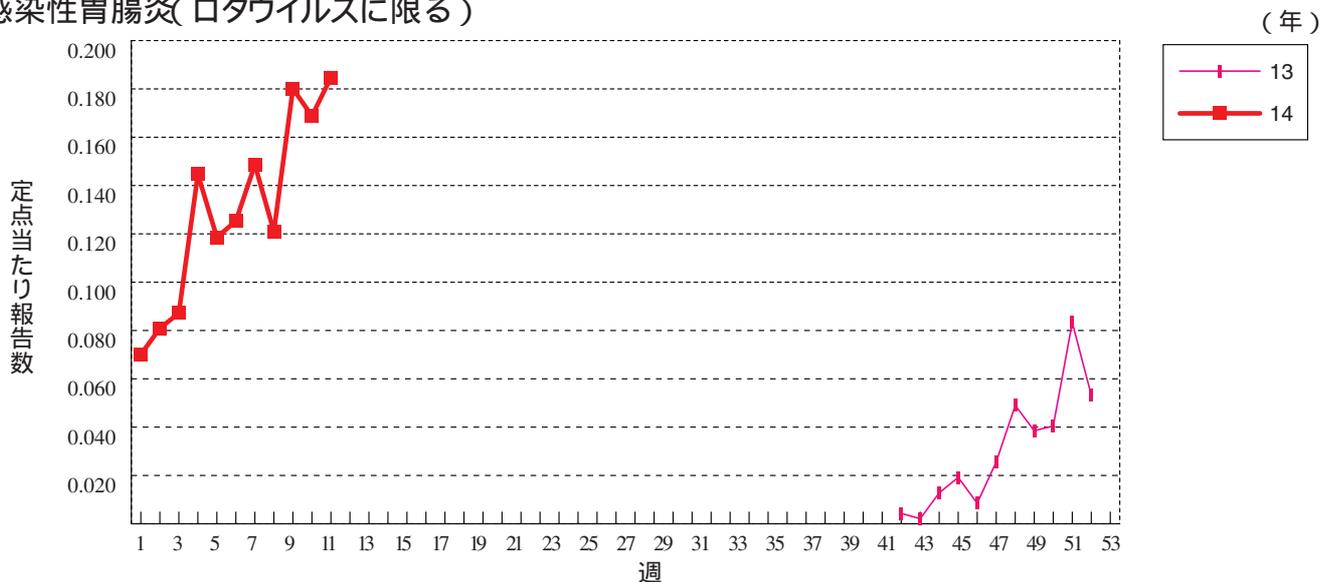
マイコプラズマ肺炎



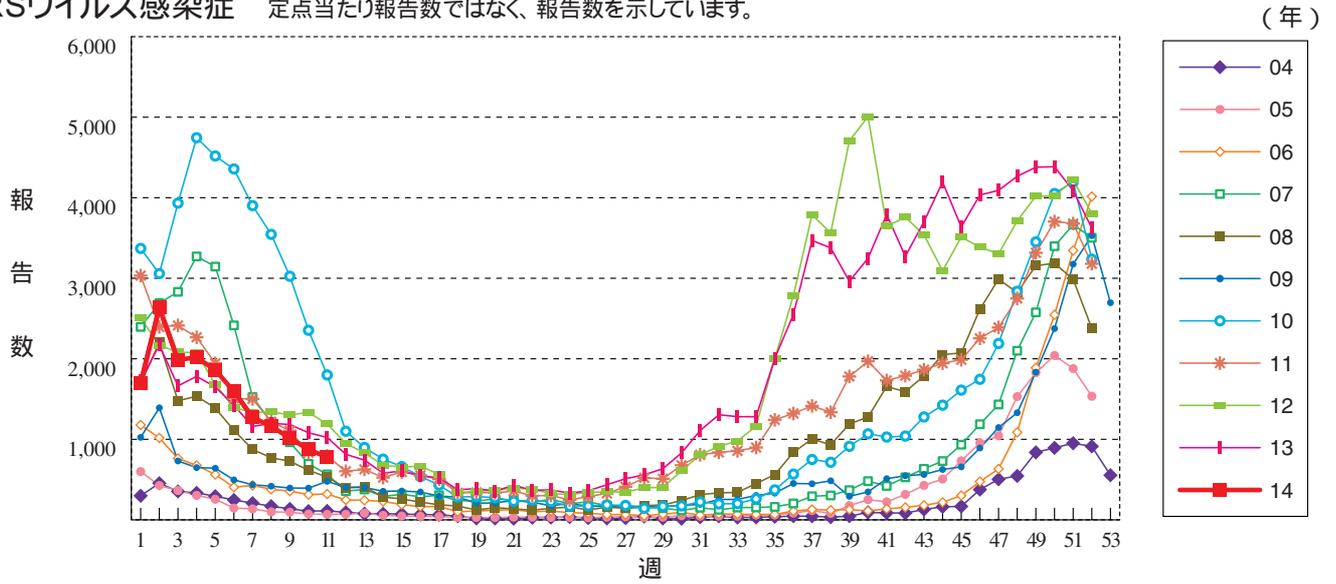
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)



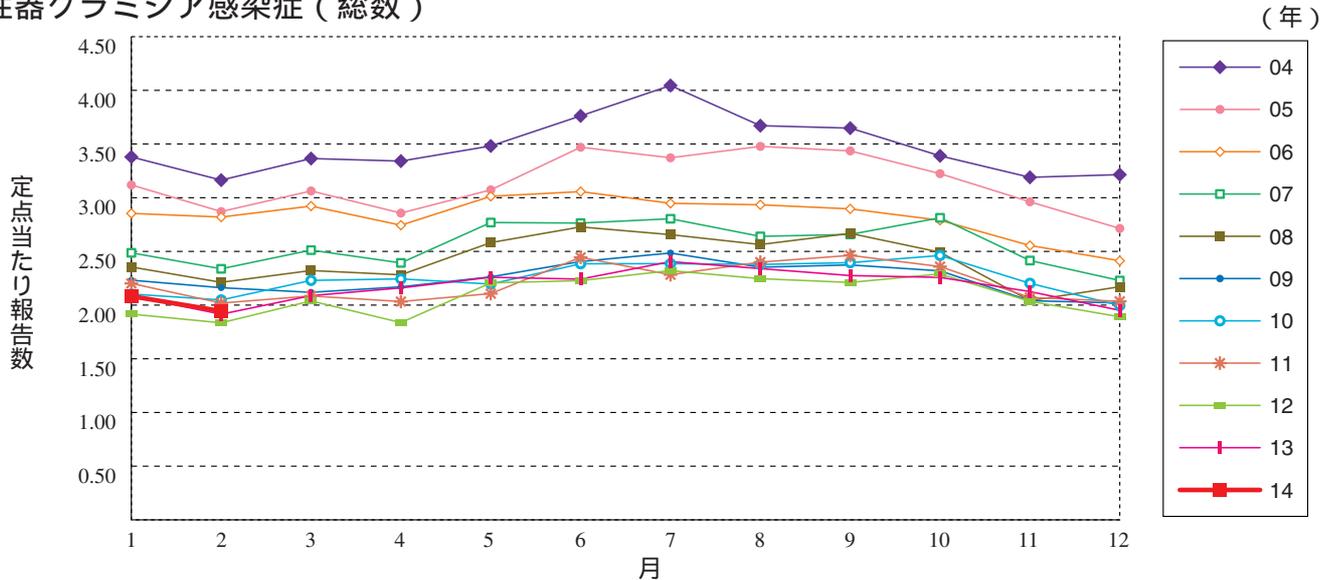
RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。



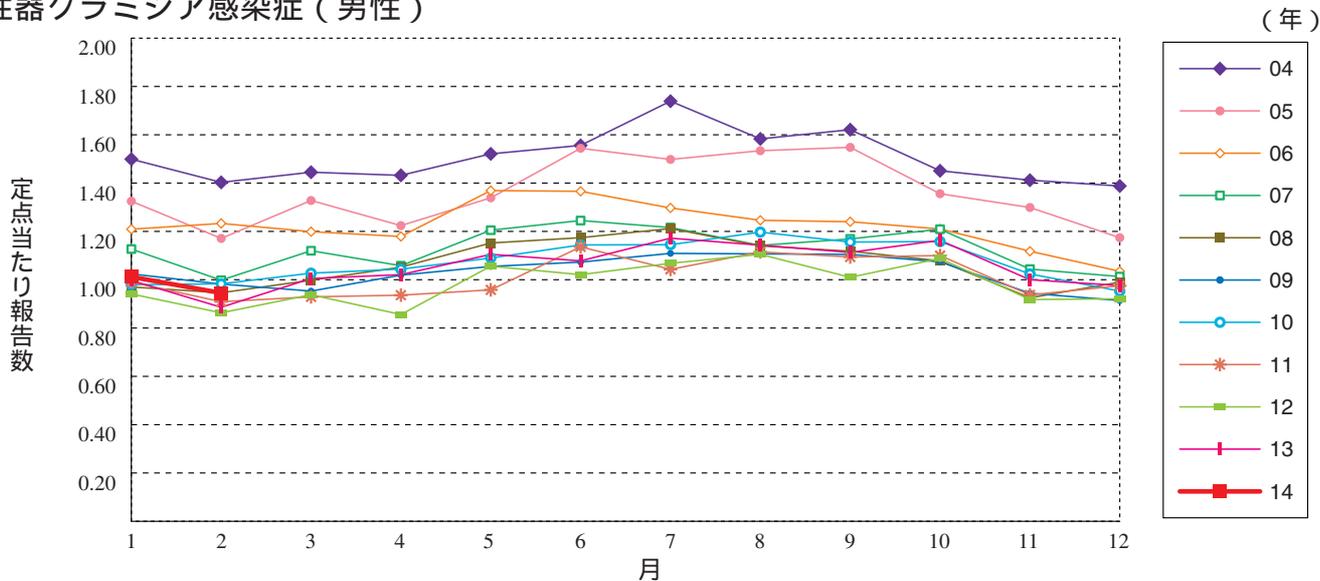


グラフ総覧(2月)

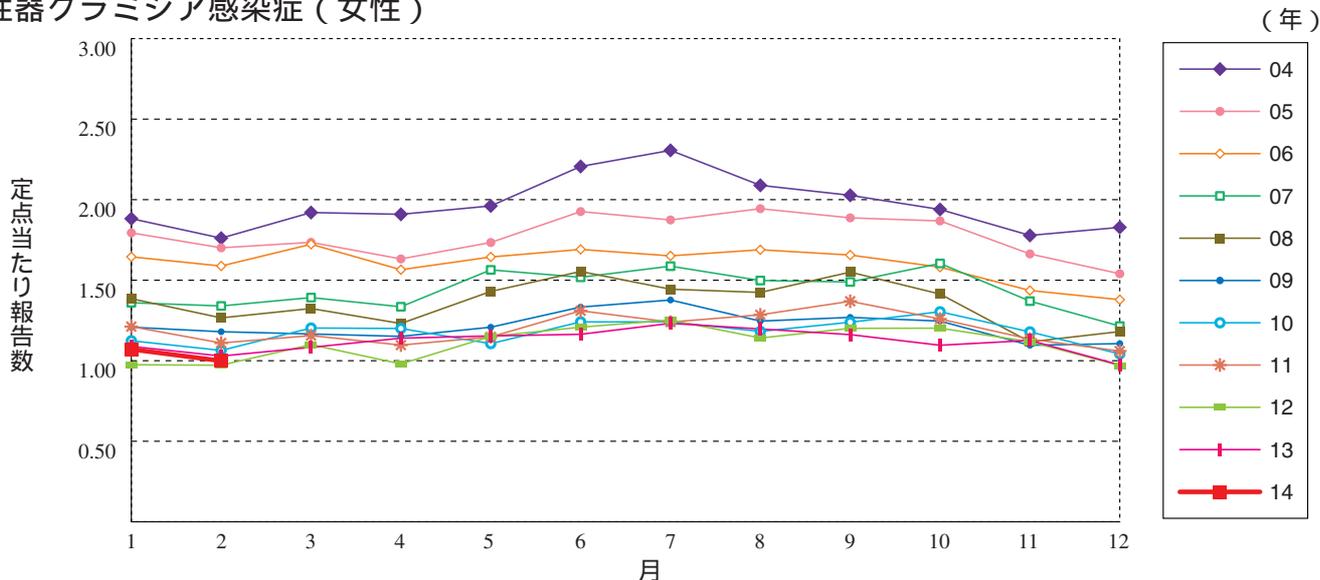
性器クラミジア感染症(総数)



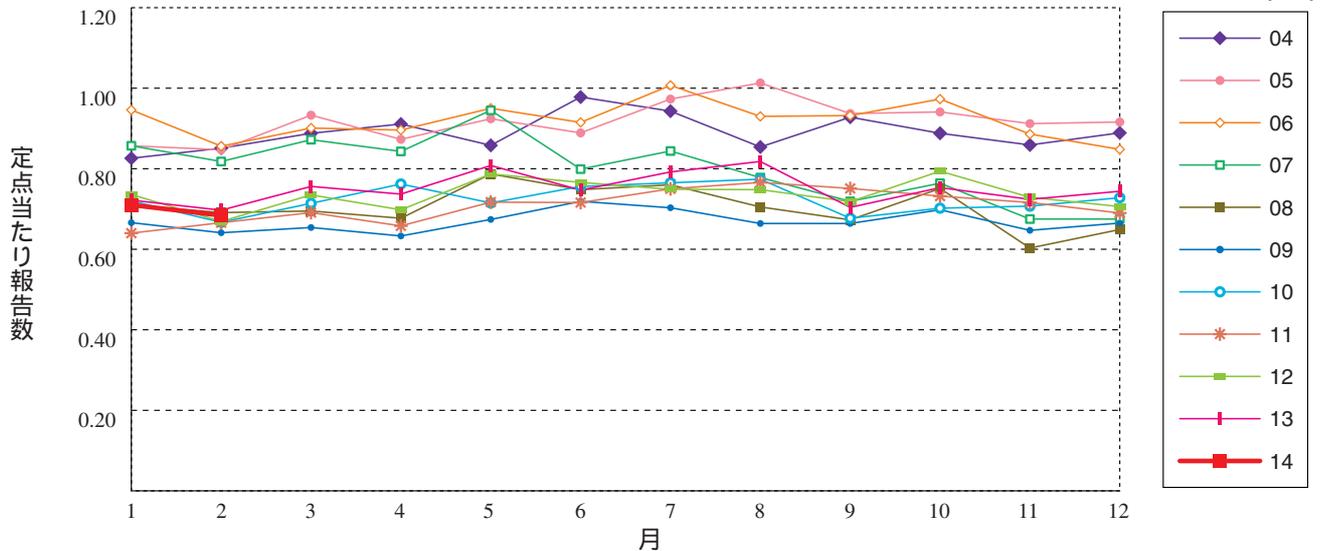
性器クラミジア感染症(男性)



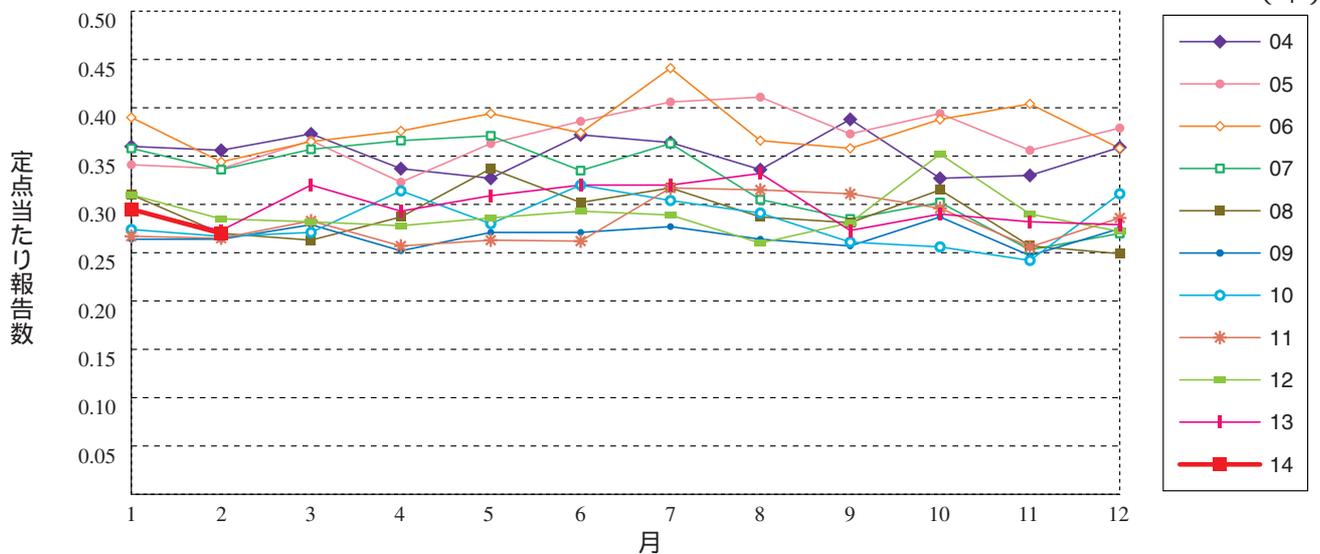
性器クラミジア感染症(女性)



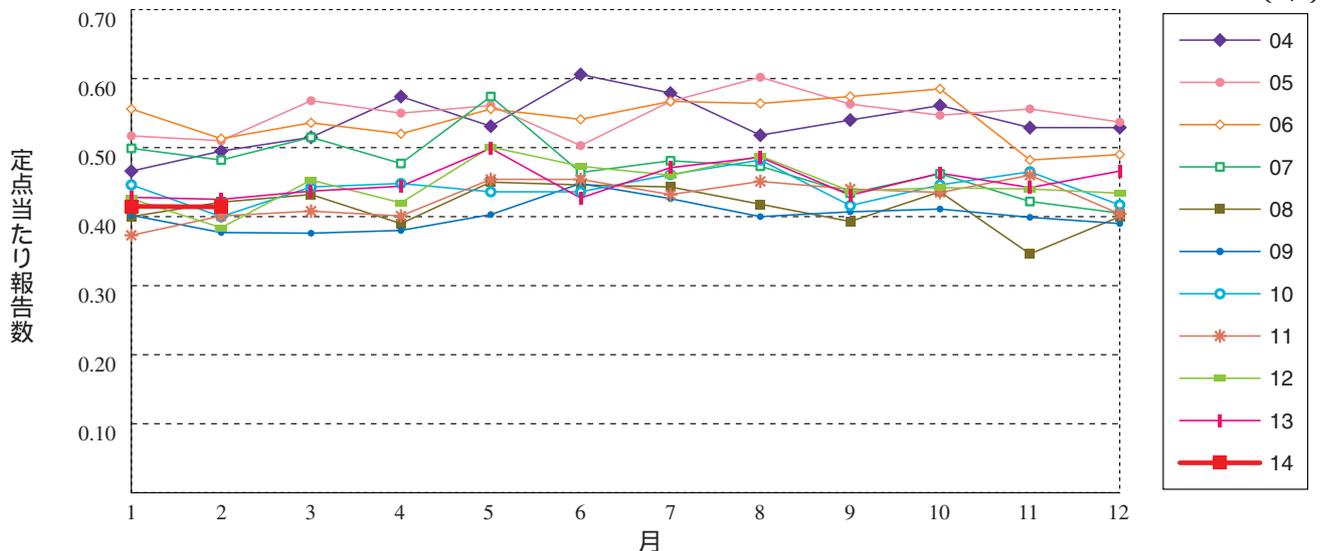
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



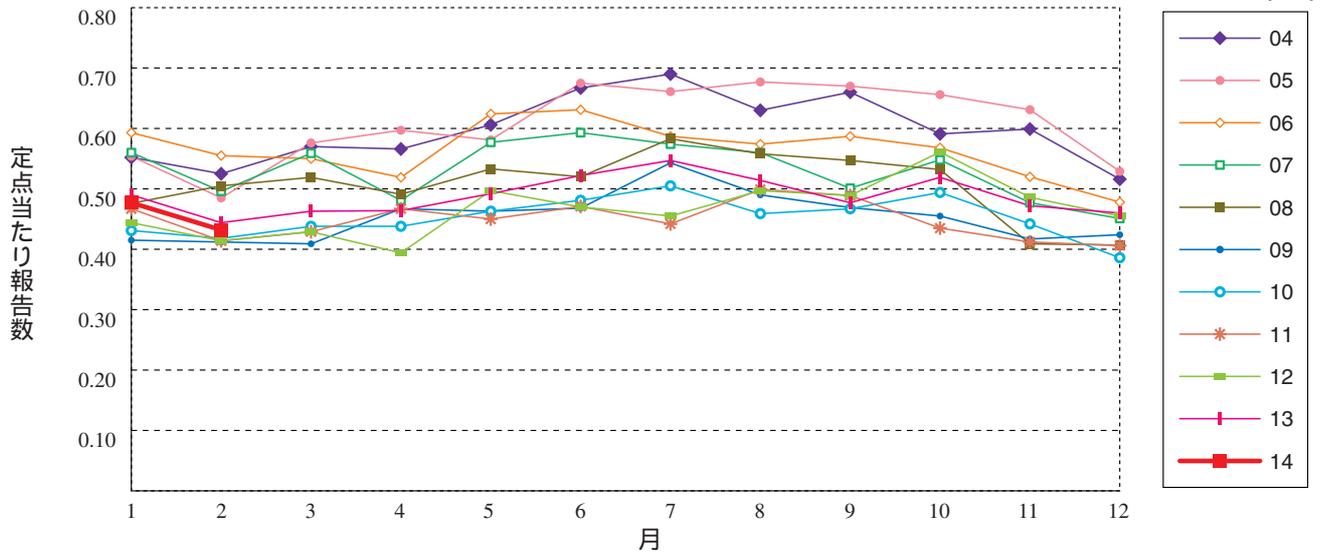
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



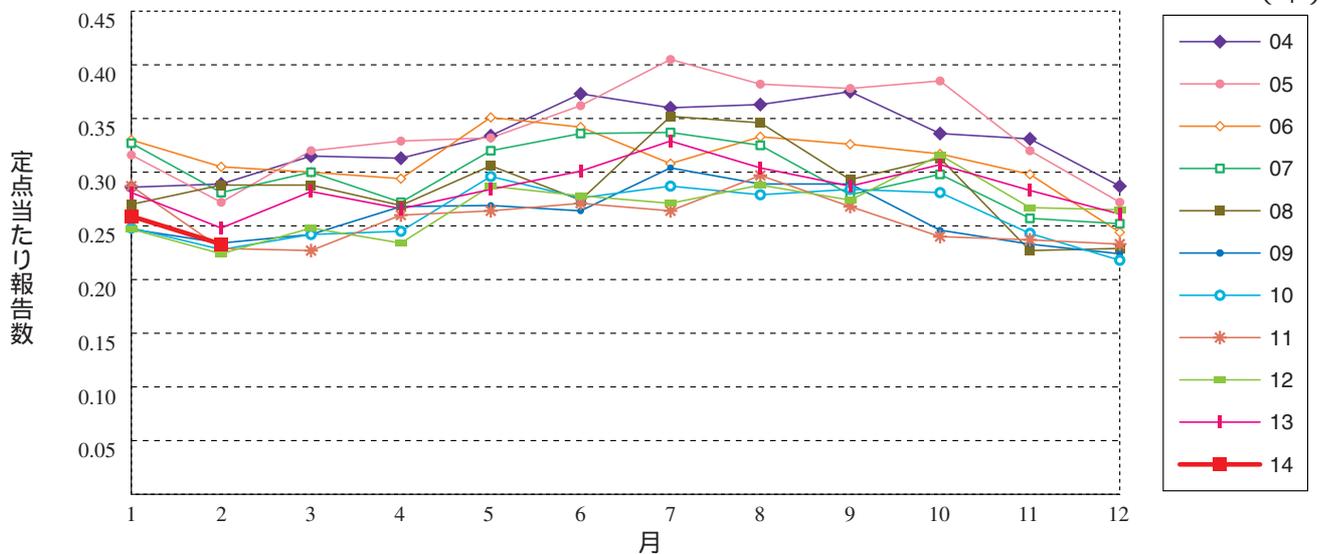
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



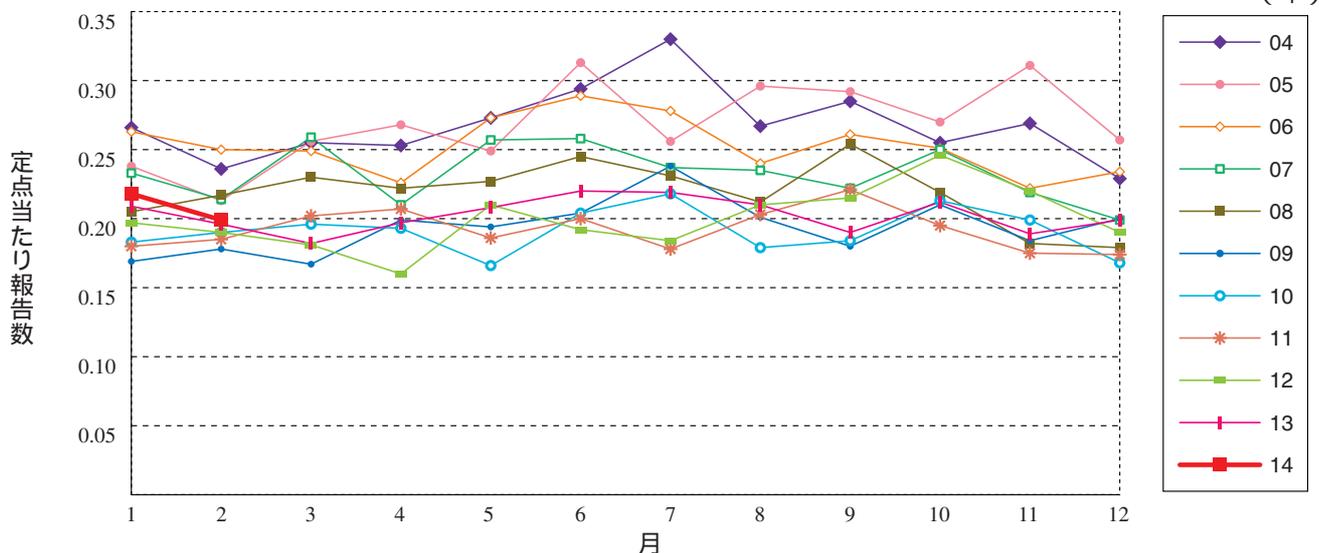
尖圭コンジローマ (総数)



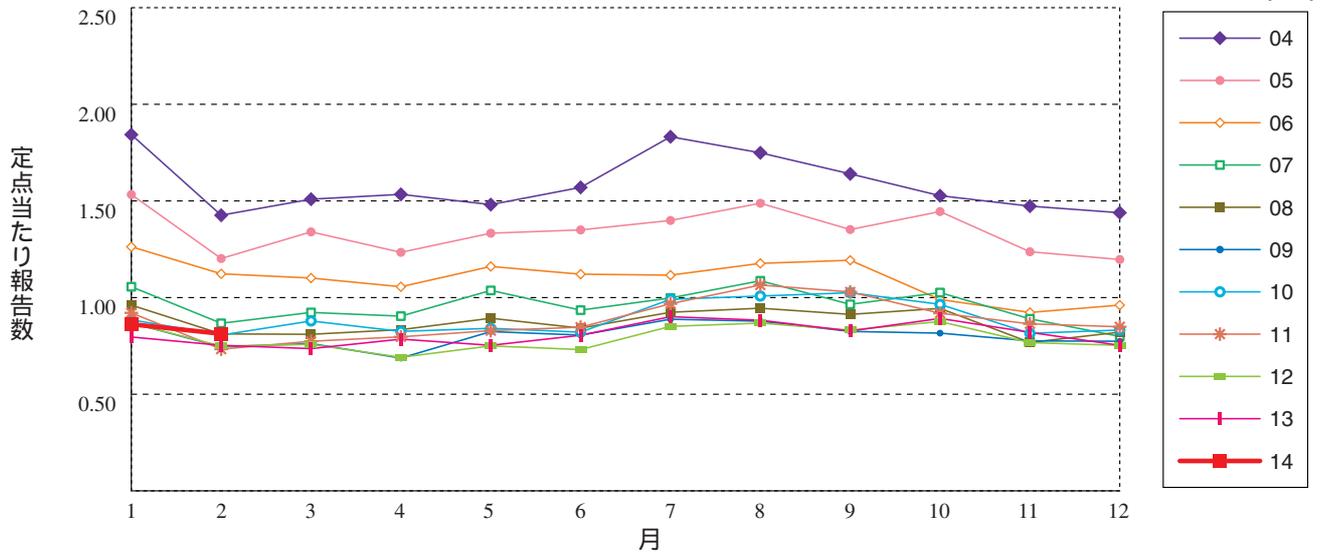
尖圭コンジローマ (男性)



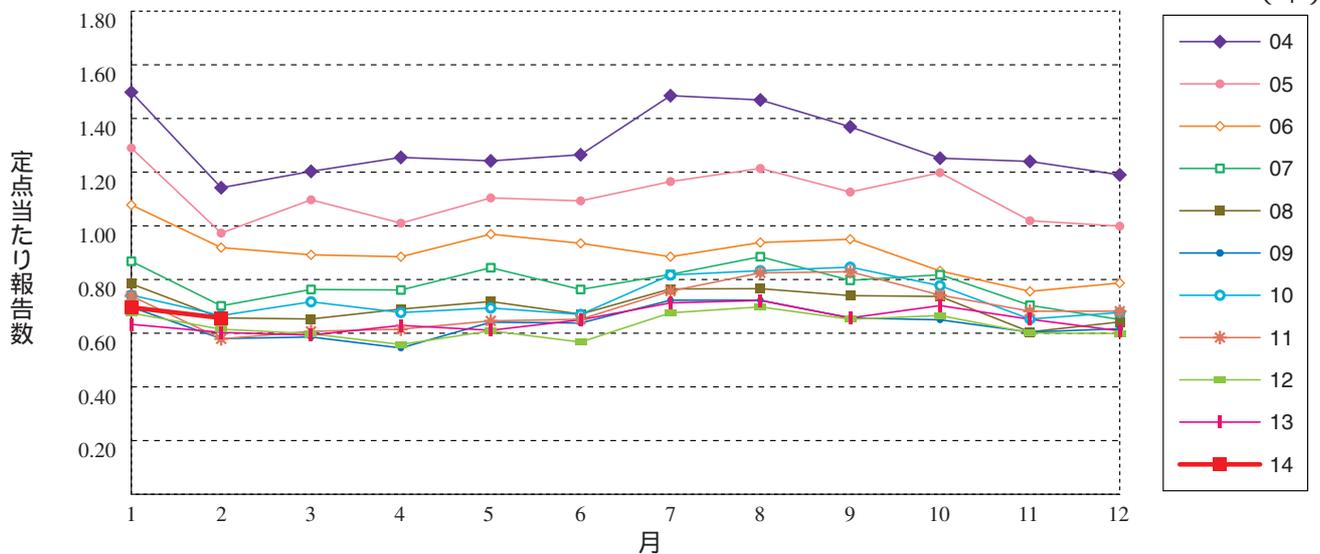
尖圭コンジローマ (女性)



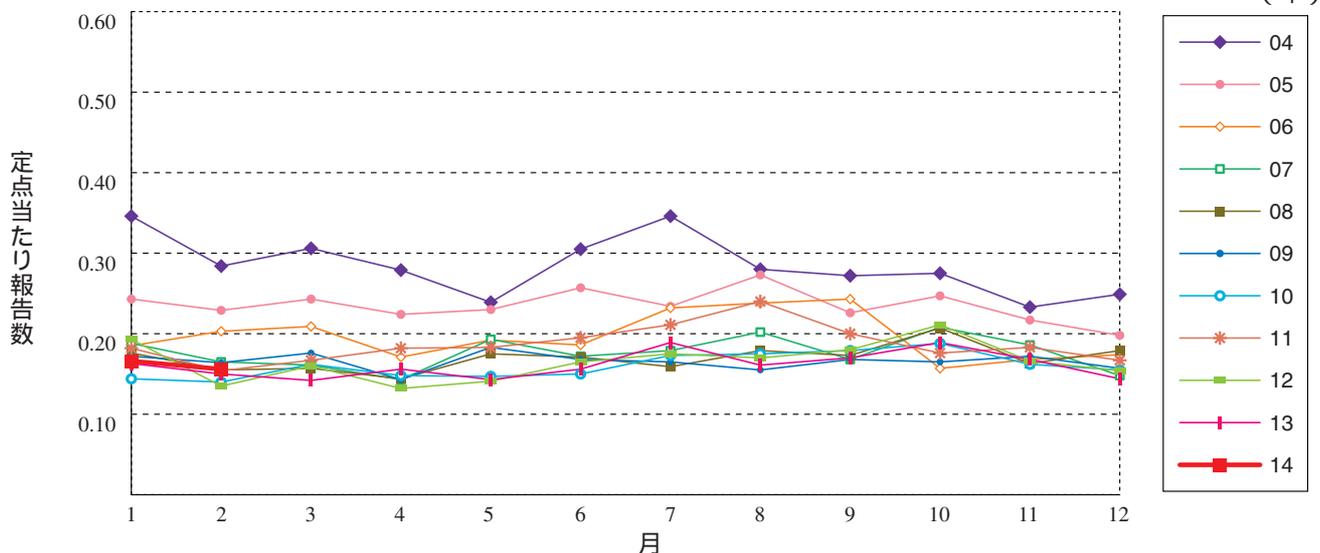
淋菌感染症（総数）



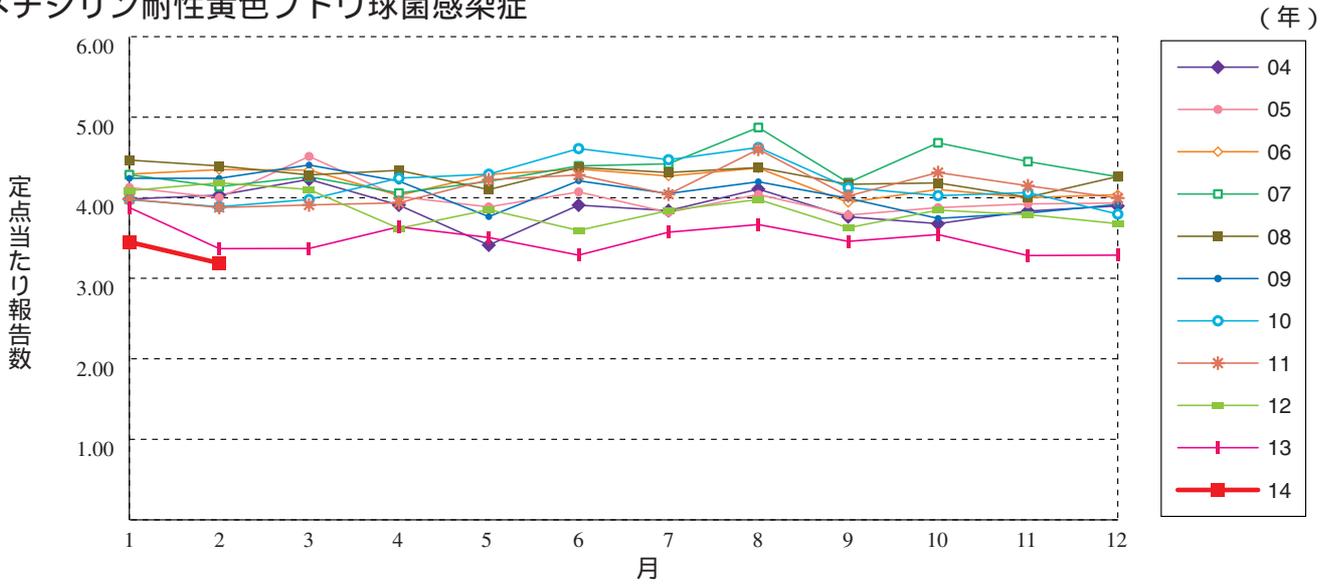
淋菌感染症（男性）



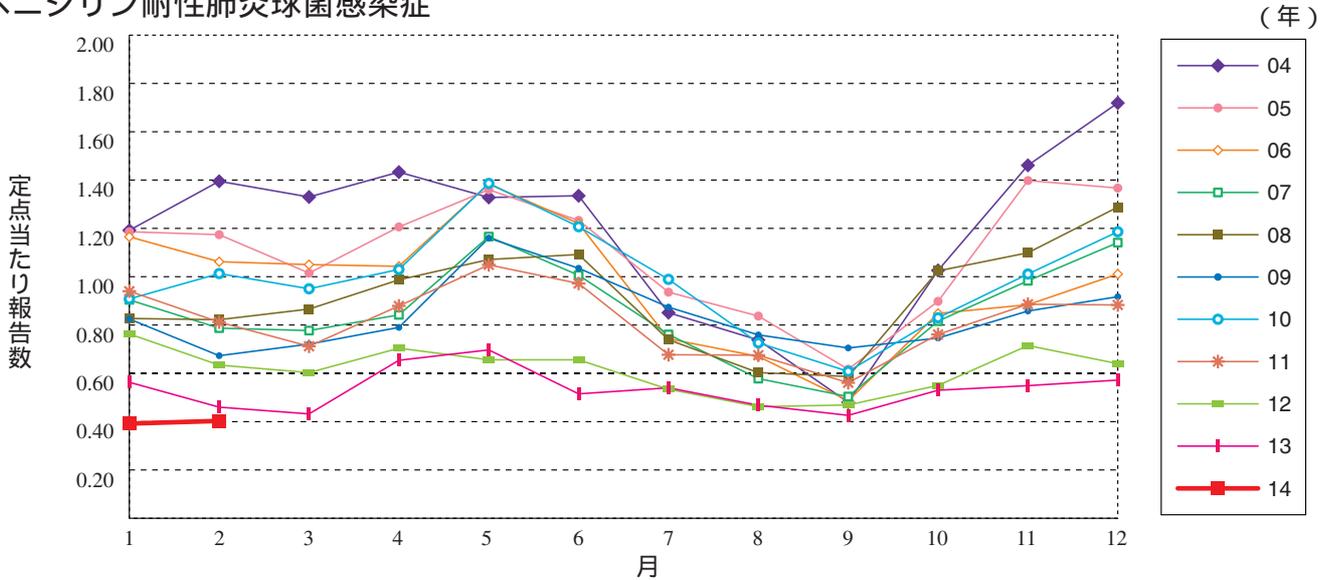
淋菌感染症（女性）



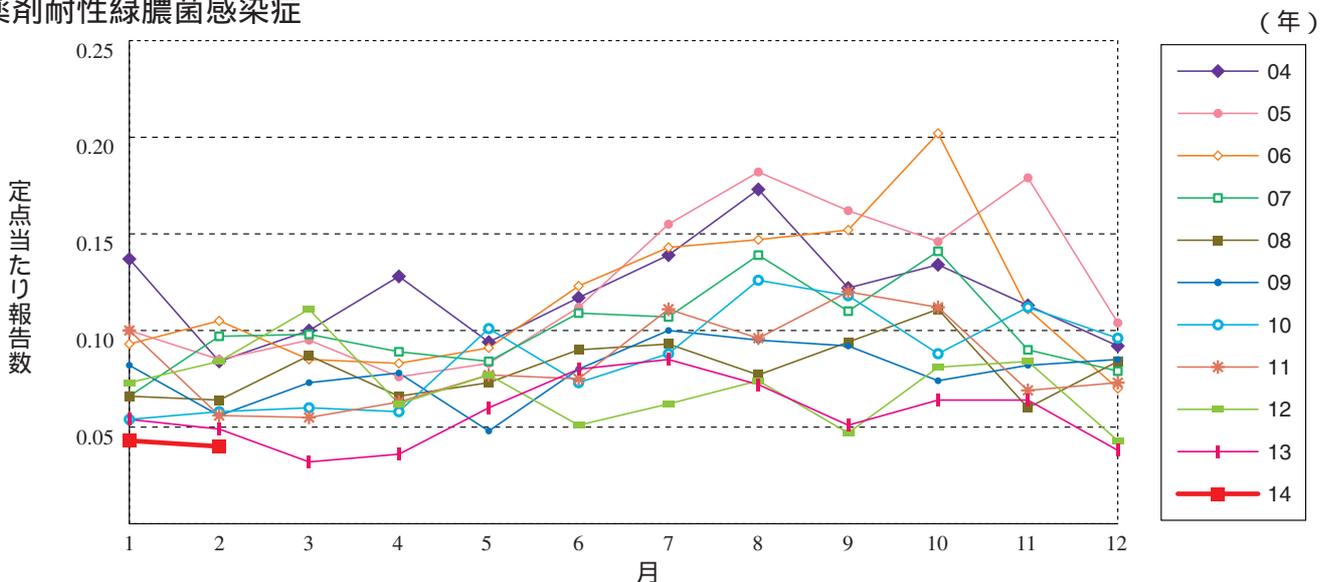
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



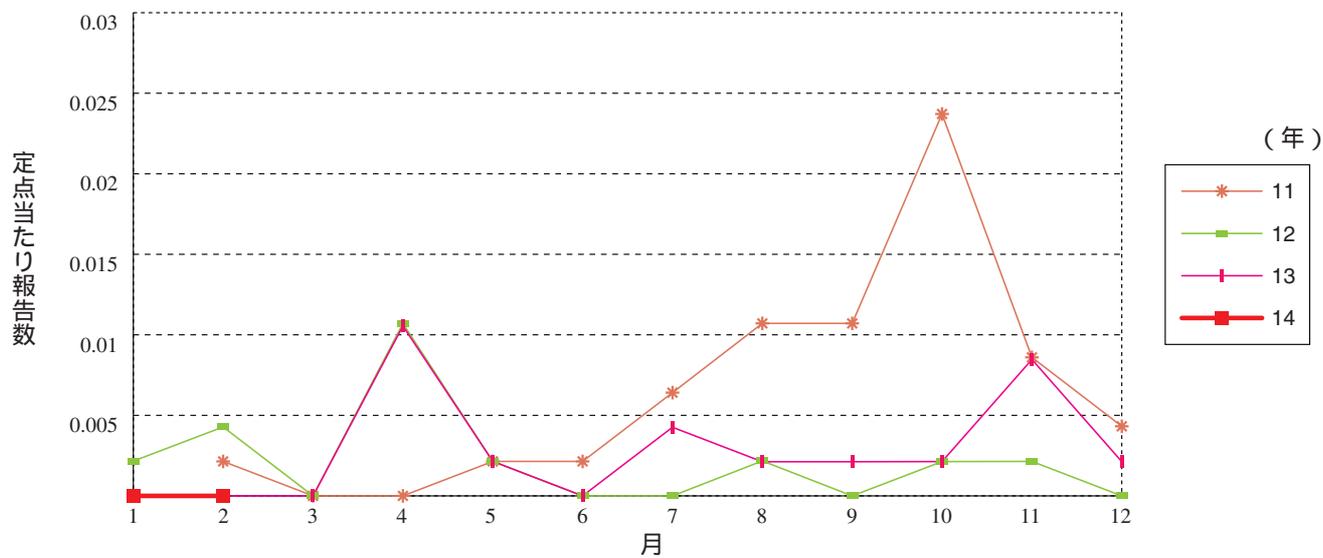
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



薬剤耐性緑膿菌感染症



薬剤耐性アシネトバクター感染症





2月のデータ

注 3月11日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

2014年2月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		薬剤耐性アシネトバクター感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1888	1.94	664	0.68	419	0.43	789	0.81	1511	3.19	191	0.40	19	0.04	-	-
北海道	112	2.67	32	0.76	20	0.48	43	1.02	66	2.87	5	0.22	1	0.04	-	-
青森県	40	3.08	8	0.62	4	0.31	1	0.08	6	1.00	3	0.50	-	-	-	-
岩手県	23	1.53	4	0.27	6	0.40	6	0.40	30	1.58	3	0.16	-	-	-	-
宮城県	33	1.94	13	0.76	8	0.47	14	0.82	23	1.92	8	0.67	-	-	-	-
秋田県	17	1.21	4	0.29	1	0.07	4	0.29	34	4.25	4	0.50	-	-	-	-
山形県	16	1.60	3	0.30	1	0.10	2	0.20	21	2.33	2	0.22	-	-	-	-
福島県	50	3.33	8	0.53	6	0.40	3	0.20	52	7.43	2	0.29	-	-	-	-
茨城県	77	3.50	10	0.45	4	0.18	17	0.77	13	1.00	1	0.08	-	-	-	-
栃木県	20	1.18	5	0.29	8	0.47	20	1.18	29	4.14	-	-	-	-	-	-
群馬県	51	2.13	10	0.42	7	0.29	16	0.67	17	2.13	5	0.63	1	0.13	-	-
埼玉県	125	2.23	41	0.73	25	0.45	52	0.93	9	0.90	1	0.10	-	-	-	-
千葉県	52	1.21	28	0.65	17	0.40	19	0.44	52	5.78	12	1.33	-	-	-	-
東京都	155	2.82	108	1.96	59	1.07	87	1.58	76	3.04	22	0.88	3	0.12	-	-
神奈川県	75	1.36	23	0.42	12	0.22	49	0.89	24	2.40	5	0.50	1	0.10	-	-
新潟県	15	1.00	5	0.33	3	0.20	8	0.53	66	5.08	13	1.00	1	0.08	-	-
富山県	11	1.10	6	0.60	4	0.40	2	0.20	7	1.40	2	0.40	-	-	-	-
石川県	25	2.50	12	1.20	3	0.30	16	1.60	23	4.60	3	0.60	-	-	-	-
福井県	2	0.40	11	2.20	5	1.00	-	-	14	2.33	5	0.83	-	-	-	-
山梨県	9	1.00	12	1.33	4	0.44	2	0.22	18	1.80	-	-	-	-	-	-
長野県	20	1.43	1	0.07	2	0.14	6	0.43	22	2.00	5	0.45	-	-	-	-
岐阜県	23	1.64	10	0.71	7	0.50	15	1.07	19	3.80	1	0.20	-	-	-	-
静岡県	47	1.57	5	0.17	5	0.17	13	0.43	13	1.30	2	0.20	-	-	-	-
愛知県	128	2.00	48	0.75	34	0.53	51	0.80	93	6.20	4	0.27	-	-	-	-
三重県	9	0.53	5	0.29	5	0.29	3	0.18	37	4.11	4	0.44	3	0.33	-	-
滋賀県	5	0.56	1	0.11	2	0.22	2	0.22	16	2.29	-	-	1	0.14	-	-
京都府	40	1.74	9	0.39	6	0.26	9	0.39	13	1.86	-	-	-	-	-	-
大阪府	177	2.68	70	1.06	59	0.89	70	1.06	75	4.17	10	0.56	5	0.28	-	-
兵庫県	80	1.74	12	0.26	9	0.20	29	0.63	25	2.27	3	0.27	-	-	-	-
奈良県	8	0.89	1	0.11	-	-	3	0.33	32	5.33	8	1.33	-	-	-	-
和歌山県	18	2.25	8	1.00	10	1.25	4	0.50	27	2.45	-	-	-	-	-	-
鳥取県	18	2.57	13	1.86	5	0.71	8	1.14	15	3.00	2	0.40	-	-	-	-
島根県	7	1.17	1	0.17	-	-	10	1.67	41	5.13	2	0.25	1	0.13	-	-
岡山県	25	1.47	4	0.24	9	0.53	10	0.59	15	3.00	-	-	-	-	-	-
広島県	53	2.30	16	0.70	29	1.26	36	1.57	81	3.86	15	0.71	1	0.05	-	-
山口県	25	2.08	10	0.83	7	0.58	17	1.42	37	4.11	14	1.56	-	-	-	-
徳島県	19	3.17	16	2.67	6	1.00	-	-	30	4.29	3	0.43	-	-	-	-
香川県	16	1.07	6	0.40	3	0.20	5	0.33	8	1.60	1	0.20	-	-	-	-
愛媛県	5	0.45	2	0.18	1	0.09	8	0.73	12	2.00	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.17	-	-	-	-	-	-	23	2.88	-	-	-	-	-	-
福岡県	106	2.86	34	0.92	10	0.27	69	1.86	25	1.67	5	0.33	-	-	-	-
佐賀県	9	1.29	4	0.57	1	0.14	8	1.14	15	2.50	-	-	-	-	-	-
長崎県	21	2.10	9	0.90	-	-	3	0.30	68	5.67	3	0.25	-	-	-	-
熊本県	47	2.94	18	1.13	5	0.31	15	0.94	22	1.47	3	0.20	-	-	-	-
大分県	17	1.70	4	0.40	3	0.30	6	0.60	61	5.55	3	0.27	-	-	-	-
宮崎県	25	1.92	5	0.38	1	0.08	9	0.69	26	3.71	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	25	1.56	4	0.25	3	0.19	17	1.06	31	2.58	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	6	0.50	5	0.42	-	-	2	0.17	49	7.00	5	0.71	1	0.14	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

2014年2月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		薬剤耐性アシネトバクター感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	918	0.95	262	0.27	226	0.23	638	0.66	972	2.05	115	0.24	14	0.03	-	-
北海道	40	0.95	5	0.12	9	0.21	21	0.50	38	1.65	3	0.13	-	-	-	-
青森県	14	1.08	3	0.23	3	0.23	1	0.08	5	0.83	2	0.33	-	-	-	-
岩手県	8	0.53	2	0.13	5	0.33	6	0.40	19	1.00	2	0.11	-	-	-	-
宮城県	17	1.00	6	0.35	7	0.41	14	0.82	15	1.25	6	0.50	-	-	-	-
秋田県	7	0.50	3	0.21	-	-	4	0.29	21	2.63	2	0.25	-	-	-	-
山形県	8	0.80	1	0.10	1	0.10	1	0.10	12	1.33	2	0.22	-	-	-	-
福島県	24	1.60	2	0.13	5	0.33	2	0.13	37	5.29	-	-	-	-	-	-
茨城県	35	1.59	2	0.09	1	0.05	10	0.45	10	0.77	1	0.08	-	-	-	-
栃木県	14	0.82	1	0.06	6	0.35	18	1.06	18	2.57	-	-	-	-	-	-
群馬県	31	1.29	2	0.08	5	0.21	15	0.63	12	1.50	4	0.50	1	0.13	-	-
埼玉県	56	1.00	6	0.11	11	0.20	42	0.75	6	0.60	1	0.10	-	-	-	-
千葉県	24	0.56	8	0.19	6	0.14	17	0.40	39	4.33	6	0.67	-	-	-	-
東京都	93	1.69	69	1.25	38	0.69	81	1.47	49	1.96	14	0.56	3	0.12	-	-
神奈川県	42	0.76	7	0.13	6	0.11	48	0.87	15	1.50	2	0.20	1	0.10	-	-
新潟県	13	0.87	2	0.13	3	0.20	8	0.53	39	3.00	6	0.46	1	0.08	-	-
富山県	3	0.30	-	-	1	0.10	2	0.20	4	0.80	1	0.20	-	-	-	-
石川県	10	1.00	8	0.80	1	0.10	15	1.50	17	3.40	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.20	1	0.20	1	0.20	-	-	8	1.33	3	0.50	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	13	1.30	-	-	-	-	-	-
長野県	9	0.64	-	-	-	-	5	0.36	12	1.09	3	0.27	-	-	-	-
岐阜県	13	0.93	4	0.29	6	0.43	12	0.86	14	2.80	1	0.20	-	-	-	-
静岡県	20	0.67	3	0.10	2	0.07	11	0.37	6	0.60	-	-	-	-	-	-
愛知県	76	1.19	22	0.34	13	0.20	43	0.67	58	3.87	2	0.13	-	-	-	-
三重県	3	0.18	3	0.18	3	0.18	2	0.12	27	3.00	3	0.33	3	0.33	-	-
滋賀県	1	0.11	1	0.11	-	-	1	0.11	10	1.43	-	-	1	0.14	-	-
京都府	10	0.43	1	0.04	-	-	4	0.17	11	1.57	-	-	-	-	-	-
大阪府	81	1.23	33	0.50	29	0.44	56	0.85	49	2.72	7	0.39	2	0.11	-	-
兵庫県	46	1.00	3	0.07	9	0.20	24	0.52	16	1.45	1	0.09	-	-	-	-
奈良県	4	0.44	-	-	-	-	3	0.33	18	3.00	7	1.17	-	-	-	-
和歌山県	13	1.63	5	0.63	10	1.25	3	0.38	16	1.45	-	-	-	-	-	-
鳥取県	10	1.43	11	1.57	4	0.57	7	1.00	4	0.80	1	0.20	-	-	-	-
島根県	5	0.83	1	0.17	-	-	10	1.67	31	3.88	1	0.13	1	0.13	-	-
岡山県	3	0.18	-	-	5	0.29	6	0.35	10	2.00	-	-	-	-	-	-
広島県	34	1.48	5	0.22	13	0.57	32	1.39	55	2.62	11	0.52	-	-	-	-
山口県	6	0.50	4	0.33	4	0.33	9	0.75	23	2.56	9	1.00	-	-	-	-
徳島県	17	2.83	6	1.00	5	0.83	-	-	16	2.29	2	0.29	-	-	-	-
香川県	4	0.27	3	0.20	2	0.13	4	0.27	6	1.20	1	0.20	-	-	-	-
愛媛県	2	0.18	2	0.18	1	0.09	6	0.55	10	1.67	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	15	1.88	-	-	-	-	-	-
福岡県	57	1.54	8	0.22	6	0.16	50	1.35	13	0.87	4	0.27	-	-	-	-
佐賀県	5	0.71	1	0.14	-	-	7	1.00	9	1.50	-	-	-	-	-	-
長崎県	12	1.20	4	0.40	-	-	3	0.30	46	3.83	-	-	-	-	-	-
熊本県	14	0.88	8	0.50	2	0.13	11	0.69	16	1.07	3	0.20	-	-	-	-
大分県	8	0.80	2	0.20	-	-	5	0.50	40	3.64	2	0.18	-	-	-	-
宮崎県	9	0.69	1	0.08	-	-	4	0.31	19	2.71	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	14	0.88	1	0.06	3	0.19	14	0.88	20	1.67	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.17	2	0.17	-	-	1	0.08	25	3.57	2	0.29	1	0.14	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

2014年2月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症		薬剤耐性アシネト バクター感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	970	1.00	402	0.41	193	0.20	151	0.16	539	1.14	76	0.16	5	0.01	-	-
北海道	72	1.71	27	0.64	11	0.26	22	0.52	28	1.22	2	0.09	1	0.04	-	-
青森県	26	2.00	5	0.38	1	0.08	-	-	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-
岩手県	15	1.00	2	0.13	1	0.07	-	-	11	0.58	1	0.05	-	-	-	-
宮城県	16	0.94	7	0.41	1	0.06	-	-	8	0.67	2	0.17	-	-	-	-
秋田県	10	0.71	1	0.07	1	0.07	-	-	13	1.63	2	0.25	-	-	-	-
山形県	8	0.80	2	0.20	-	-	1	0.10	9	1.00	-	-	-	-	-	-
福島県	26	1.73	6	0.40	1	0.07	1	0.07	15	2.14	2	0.29	-	-	-	-
茨城県	42	1.91	8	0.36	3	0.14	7	0.32	3	0.23	-	-	-	-	-	-
栃木県	6	0.35	4	0.24	2	0.12	2	0.12	11	1.57	-	-	-	-	-	-
群馬県	20	0.83	8	0.33	2	0.08	1	0.04	5	0.63	1	0.13	-	-	-	-
埼玉県	69	1.23	35	0.63	14	0.25	10	0.18	3	0.30	-	-	-	-	-	-
千葉県	28	0.65	20	0.47	11	0.26	2	0.05	13	1.44	6	0.67	-	-	-	-
東京都	62	1.13	39	0.71	21	0.38	6	0.11	27	1.08	8	0.32	-	-	-	-
神奈川県	33	0.60	16	0.29	6	0.11	1	0.02	9	0.90	3	0.30	-	-	-	-
新潟県	2	0.13	3	0.20	-	-	-	-	27	2.08	7	0.54	-	-	-	-
富山県	8	0.80	6	0.60	3	0.30	-	-	3	0.60	1	0.20	-	-	-	-
石川県	15	1.50	4	0.40	2	0.20	1	0.10	6	1.20	3	0.60	-	-	-	-
福井県	1	0.20	10	2.00	4	0.80	-	-	6	1.00	2	0.33	-	-	-	-
山梨県	9	1.00	12	1.33	4	0.44	2	0.22	5	0.50	-	-	-	-	-	-
長野県	11	0.79	1	0.07	2	0.14	1	0.07	10	0.91	2	0.18	-	-	-	-
岐阜県	10	0.71	6	0.43	1	0.07	3	0.21	5	1.00	-	-	-	-	-	-
静岡県	27	0.90	2	0.07	3	0.10	2	0.07	7	0.70	2	0.20	-	-	-	-
愛知県	52	0.81	26	0.41	21	0.33	8	0.13	35	2.33	2	0.13	-	-	-	-
三重県	6	0.35	2	0.12	2	0.12	1	0.06	10	1.11	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	4	0.44	-	-	2	0.22	1	0.11	6	0.86	-	-	-	-	-	-
京都府	30	1.30	8	0.35	6	0.26	5	0.22	2	0.29	-	-	-	-	-	-
大阪府	96	1.45	37	0.56	30	0.45	14	0.21	26	1.44	3	0.17	3	0.17	-	-
兵庫県	34	0.74	9	0.20	-	-	5	0.11	9	0.82	2	0.18	-	-	-	-
奈良県	4	0.44	1	0.11	-	-	-	-	14	2.33	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	5	0.63	3	0.38	-	-	1	0.13	11	1.00	-	-	-	-	-	-
鳥取県	8	1.14	2	0.29	1	0.14	1	0.14	11	2.20	1	0.20	-	-	-	-
島根県	2	0.33	-	-	-	-	-	-	10	1.25	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	22	1.29	4	0.24	4	0.24	4	0.24	5	1.00	-	-	-	-	-	-
広島県	19	0.83	11	0.48	16	0.70	4	0.17	26	1.24	4	0.19	1	0.05	-	-
山口県	19	1.58	6	0.50	3	0.25	8	0.67	14	1.56	5	0.56	-	-	-	-
徳島県	2	0.33	10	1.67	1	0.17	-	-	14	2.00	1	0.14	-	-	-	-
香川県	12	0.80	3	0.20	1	0.07	1	0.07	2	0.40	-	-	-	-	-	-
愛媛県	3	0.27	-	-	-	-	2	0.18	2	0.33	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.17	-	-	-	-	-	-	8	1.00	-	-	-	-	-	-
福岡県	49	1.32	26	0.70	4	0.11	19	0.51	12	0.80	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	4	0.57	3	0.43	1	0.14	1	0.14	6	1.00	-	-	-	-	-	-
長崎県	9	0.90	5	0.50	-	-	-	-	22	1.83	3	0.25	-	-	-	-
熊本県	33	2.06	10	0.63	3	0.19	4	0.25	6	0.40	-	-	-	-	-	-
大分県	9	0.90	2	0.20	3	0.30	1	0.10	21	1.91	1	0.09	-	-	-	-
宮崎県	16	1.23	4	0.31	1	0.08	5	0.38	7	1.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	11	0.69	3	0.19	-	-	3	0.19	11	0.92	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	4	0.33	3	0.25	-	-	1	0.08	24	3.43	3	0.43	-	-	-	-



11週のデータ

注) 表中の報告数は3月19日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2014年11週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 瘡		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	354	4336
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	114
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	56
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	54
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	72
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	20
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	32
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	71
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	88
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	65
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	48
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	206
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	262
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59	628
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	323
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	67
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	39
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	32
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	42
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	70
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	103
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	333
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	50
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	39
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	107
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	273
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	143
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	45
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	23
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	61
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	82
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	45
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	26
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	26
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	42
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	21
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	201
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	36
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	101
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	44
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	34
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	53
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年11週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	2	18	7	70	-	9	-	1	-	28
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	8	-	5	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	2	-	1	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	3	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年11週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	29	203	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	1	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	1	8	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	4	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	1	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	6	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	2	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	5	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	2	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*2013年3月4日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年11週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		重症熱性血小板 減少症候群*		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1及びH7N9 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年11週

	つつかが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	27	4	22	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2014年11週

	鼻 疽		ブルセラ症		ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2014年11週

	リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	10	202	-	3	-	-	17	186	5	50	8	122
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	6	-	1	-	6	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	5
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	7	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	5	-	1	1	7	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	1	2	3	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	1	-	4	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	8	-	1	-	9	
千葉県	-	-	-	-	-	-	3	14	-	-	-	-	2	-	1	1	17	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	4	37	1	12	-	14
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	15	-	1	-	-	1	14	-	3	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
富山県	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	1	-	2	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	1	4	-	2	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	3	-	1	-	3	
愛知県	-	-	-	-	-	-	2	11	-	-	-	-	1	17	-	1	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	3	22	1	4	1	9
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	2	7	-	3	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	1	-	1	-	4	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	1	6	-	2	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	4	-	2	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	8	1	1	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	1	-	4	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	1	1	2	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

*2013年4月1日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年11週

	クリプトスボリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		侵襲性インフルエンザ菌感染症*		侵襲性髄膜炎菌感染症*		侵襲性肺炎球菌感染症*		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	6	3	28	4	52	17	264	2	11	4	43	-	10	22	394	-	7
北海道	-	-	-	1	-	2	-	6	-	1	-	1	-	-	1	6	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	1	
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	1	-	1	-	8	-	-
栃木県	-	-	-	-	1	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	1	11	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-	-	1	-	1	-	14	-	-
千葉県	-	-	1	2	-	1	1	12	-	-	1	1	-	1	-	11	-	-
東京都	-	4	1	2	-	12	5	87	1	4	-	3	-	1	3	40	-	3
神奈川県	-	-	-	3	1	4	2	15	-	-	-	3	-	1	3	48	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-
富山県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	6	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	1	1	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	2	-	-	1	5	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	11	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	4	-	17	-	-	-	2	-	1	2	28	-	-
三重県	-	2	-	-	-	1	-	2	-	1	-	1	-	-	2	10	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-
京都府	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	1	1	-	-	1	7	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	3	43	-	2	-	5	-	2	3	25	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	1	3	-	-	1	23	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
広島県	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
山口県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	6	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-
高知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	1	3	4	18	-	1	-	2	-	1	-	12	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	6	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	1	8	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4	-	-	-	17	-	-

*2013年5月6日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年11週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		風 し ん		麻 し ん		鳥インフル エンザ(H7N9)*	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	9	264	1	15	-	-	1	9	7	104	9	180	-	-
北海道	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-
栃木県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
埼玉県	-	7	-	1	-	-	-	-	6	1	17	-	-	-
千葉県	-	5	-	-	-	-	-	-	1	6	21	-	-	-
東京都	4	79	-	3	-	-	1	3	1	27	1	28	-	-
神奈川県	1	15	-	1	-	-	-	2	1	28	-	14	-	-
新潟県	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
石川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-
静岡県	-	8	-	-	-	-	-	-	1	3	4	18	-	-
愛知県	-	31	-	-	-	-	-	-	1	7	-	10	-	-
三重県	-	6	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
京都府	-	4	1	1	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-
大阪府	2	38	-	-	-	-	-	-	1	5	1	13	-	-
兵庫県	-	4	-	1	-	-	-	-	2	-	9	-	-	-
奈良県	1	4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-
広島県	-	2	-	1	-	-	-	1	-	2	1	9	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
徳島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	7	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
大分県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2014年11週

	インフルエンザ*		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	報告数	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	112833	22.79	778	1024	0.32	6773	2.15	21243	6.74	3013	0.96	278	0.09	406	0.13	1328	0.42	
北海道	6564	28.92	40	36	0.25	597	4.17	333	2.33	111	0.78	4	0.03	5	0.03	34	0.24	
青森県	2471	38.61	8	5	0.12	52	1.27	216	5.27	36	0.88	-	-	13	0.32	10	0.24	
岩手県	2642	41.28	3	6	0.15	97	2.43	392	9.80	48	1.20	-	-	8	0.20	17	0.43	
宮城県	3704	39.83	7	10	0.17	169	2.91	399	6.88	47	0.81	1	0.02	42	0.72	27	0.47	
秋田県	1027	19.02	-	7	0.21	38	1.12	202	5.94	18	0.53	-	-	4	0.12	5	0.15	
山形県	1239	25.81	2	6	0.20	232	7.73	369	12.30	32	1.07	-	-	5	0.17	11	0.37	
福島県	2008	26.42	34	14	0.31	111	2.47	257	5.71	31	0.69	-	-	7	0.16	15	0.33	
茨城県	2517	20.98	7	21	0.28	142	1.89	573	7.64	48	0.64	2	0.03	6	0.08	19	0.25	
栃木県	1646	21.66	5	11	0.23	57	1.19	110	2.29	33	0.69	-	-	5	0.10	26	0.54	
群馬県	1701	17.36	2	13	0.22	149	2.48	205	3.42	59	0.98	2	0.03	2	0.03	34	0.57	
埼玉県	5787	23.33	12	32	0.20	403	2.55	834	5.28	162	1.03	3	0.02	16	0.10	82	0.52	
千葉県	4860	22.71	20	31	0.23	319	2.38	727	5.43	110	0.82	2	0.01	14	0.10	58	0.43	
東京都	8563	20.58	37	49	0.19	526	2.02	1415	5.42	182	0.70	8	0.03	72	0.28	99	0.38	
神奈川県	6483	19.18	27	31	0.15	275	1.32	1168	5.62	236	1.13	8	0.04	56	0.27	113	0.54	
新潟県	3137	32.68	34	41	0.67	330	5.41	515	8.44	79	1.30	2	0.03	80	1.31	25	0.41	
富山県	1139	23.73	7	34	1.17	122	4.21	223	7.69	52	1.79	1	0.03	18	0.62	7	0.24	
石川県	1339	27.90	4	36	1.24	82	2.83	178	6.14	52	1.79	12	0.41	4	0.14	14	0.48	
福井県	1477	46.16	12	15	0.68	72	3.27	311	14.14	32	1.45	-	-	2	0.09	8	0.36	
山梨県	595	14.88	4	6	0.25	38	1.58	140	5.83	11	0.46	-	-	-	-	9	0.38	
長野県	2548	29.29	4	6	0.11	116	2.15	399	7.39	57	1.06	2	0.04	1	0.02	11	0.20	
岐阜県	1640	18.85	14	16	0.30	56	1.06	326	6.15	21	0.40	3	0.06	-	-	11	0.21	
静岡県	2988	21.50	23	11	0.12	96	1.08	630	7.08	99	1.11	-	-	-	-	34	0.38	
愛知県	4465	22.90	28	47	0.26	268	1.48	889	4.91	83	0.46	5	0.03	3	0.02	85	0.47	
三重県	2024	28.11	7	8	0.18	41	0.91	324	7.20	48	1.07	1	0.02	-	-	16	0.36	
滋賀県	958	18.08	1	9	0.28	53	1.66	176	5.50	22	0.69	3	0.09	1	0.03	8	0.25	
京都府	2168	17.63	10	11	0.15	99	1.34	399	5.39	23	0.31	1	0.01	-	-	21	0.28	
大阪府	5592	18.10	66	42	0.21	447	2.24	1297	6.49	162	0.81	8	0.04	4	0.02	75	0.38	
兵庫県	4207	21.36	16	41	0.32	157	1.24	880	6.93	157	1.24	4	0.03	4	0.03	49	0.39	
奈良県	953	17.65	11	19	0.56	25	0.74	119	3.50	37	1.09	1	0.03	-	-	5	0.15	
和歌山県	674	13.48	4	11	0.35	20	0.65	207	6.68	14	0.45	2	0.06	-	-	4	0.13	
鳥取県	709	24.45	2	12	0.63	74	3.89	96	5.05	2	0.11	-	-	-	-	14	0.74	
島根県	804	21.16	7	35	1.52	57	2.48	169	7.35	25	1.09	-	-	1	0.04	8	0.35	
岡山県	1489	17.73	2	20	0.37	37	0.69	494	9.15	35	0.65	-	-	1	0.02	21	0.39	
広島県	1731	15.05	19	54	0.75	122	1.69	587	8.15	47	0.65	2	0.03	-	-	28	0.39	
山口県	1920	27.83	32	21	0.44	178	3.71	471	9.81	34	0.71	4	0.08	3	0.06	19	0.40	
徳島県	648	17.05	7	6	0.26	18	0.78	145	6.30	22	0.96	1	0.04	4	0.17	15	0.65	
香川県	1118	22.82	4	3	0.10	41	1.37	197	6.57	23	0.77	-	-	-	-	11	0.37	
愛媛県	1583	25.95	21	12	0.32	60	1.62	386	10.43	56	1.51	-	-	-	-	23	0.62	
高知県	913	19.02	6	5	0.17	14	0.47	181	6.03	13	0.43	-	-	3	0.10	12	0.40	
福岡県	5487	27.71	69	50	0.42	381	3.18	1155	9.63	188	1.57	54	0.45	6	0.05	100	0.83	
佐賀県	759	19.46	8	5	0.22	67	2.91	185	8.04	31	1.35	5	0.22	-	-	19	0.83	
長崎県	1625	23.21	18	31	0.70	89	2.02	255	5.80	70	1.59	13	0.30	-	-	19	0.43	
熊本県	1543	19.29	21	35	0.70	110	2.20	745	14.90	57	1.14	58	1.16	2	0.04	25	0.50	
大分県	1313	22.64	4	18	0.50	45	1.25	545	15.14	47	1.31	13	0.36	4	0.11	25	0.69	
宮崎県	1563	26.49	33	25	0.69	59	1.64	561	15.58	64	1.78	47	1.31	2	0.06	32	0.89	
鹿児島県	1617	17.39	34	65	1.18	165	3.00	735	13.36	105	1.91	5	0.09	1	0.02	17	0.31	
沖縄県	895	15.43	42	2	0.06	67	1.97	123	3.62	92	2.71	1	0.03	7	0.21	8	0.24	

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2014年11週

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	26	0.01	61	0.02	720	0.23	14	0.02	349	0.51	11	0.02	20	0.04	100	0.21	4	0.01
北海道	-	-	1	0.01	33	0.23	-	-	6	0.21	-	-	1	0.04	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	7	0.17	2	0.18	5	0.45	-	-	-	-	9	1.50	-	-
岩手県	-	-	-	-	8	0.20	-	-	8	0.57	1	0.05	-	-	8	0.42	-	-
宮城県	-	-	1	0.02	8	0.14	-	-	1	0.08	-	-	-	-	8	0.67	-	-
秋田県	-	-	-	-	8	0.24	-	-	2	0.29	-	-	-	-	3	0.38	-	-
山形県	1	0.03	-	-	6	0.20	-	-	6	0.75	-	-	1	0.10	3	0.30	-	-
福島県	-	-	1	0.02	30	0.67	-	-	13	1.08	-	-	-	-	5	0.71	1	0.14
茨城県	-	-	1	0.01	3	0.04	-	-	14	0.82	-	-	-	-	1	0.08	-	-
栃木県	1	0.02	-	-	9	0.19	-	-	10	0.83	-	-	-	-	2	0.29	-	-
群馬県	-	-	1	0.02	14	0.23	-	-	11	0.85	1	0.13	-	-	-	-	-	-
埼玉県	2	0.01	-	-	37	0.23	1	0.02	18	0.44	1	0.10	1	0.10	2	0.20	-	-
千葉県	-	-	1	0.01	57	0.43	3	0.09	15	0.45	1	0.11	-	-	5	0.56	-	-
東京都	-	-	5	0.02	28	0.11	-	-	12	0.32	-	-	1	0.04	1	0.04	-	-
神奈川県	-	-	-	-	43	0.21	1	0.02	25	0.57	-	-	1	0.10	1	0.10	-	-
新潟県	1	0.02	-	-	3	0.05	-	-	9	0.90	-	-	-	-	3	0.23	-	-
富山県	-	-	2	0.07	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.20	-	-
石川県	-	-	-	-	9	0.31	-	-	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	12	0.55	-	-	-	-	-	-	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	0.04	-	-	2	0.22	-	-	-	-	1	0.10	-	-
長野県	-	-	1	0.02	3	0.06	1	0.09	5	0.45	-	-	-	-	2	0.18	-	-
岐阜県	2	0.04	-	-	5	0.09	-	-	3	0.27	-	-	-	-	1	0.20	-	-
静岡県	-	-	-	-	16	0.18	-	-	10	0.45	1	0.10	2	0.20	7	0.70	-	-
愛知県	-	-	1	0.01	48	0.27	4	0.12	10	0.29	-	-	3	0.21	8	0.57	1	0.07
三重県	-	-	-	-	7	0.16	-	-	3	0.25	-	-	-	-	2	0.22	-	-
滋賀県	-	-	2	0.06	3	0.09	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	1	0.01	-	-	-	-	2	0.12	-	-	1	0.14	1	0.14	-	-
大阪府	2	0.01	6	0.03	21	0.11	1	0.02	15	0.29	1	0.06	1	0.06	-	-	-	-
兵庫県	1	0.01	1	0.01	16	0.13	-	-	19	0.54	1	0.08	1	0.08	4	0.33	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	1	0.03	-	-	5	0.56	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	2	0.06	1	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.27	-	-
鳥取県	-	-	-	-	1	0.05	-	-	2	0.67	1	0.20	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	2	0.09	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	3	0.06	3	0.06	1	0.08	11	0.92	1	0.20	-	-	1	0.20	1	0.20
広島県	1	0.01	-	-	26	0.36	-	-	14	0.74	-	-	1	0.05	1	0.05	-	-
山口県	-	-	2	0.04	13	0.27	-	-	4	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.04	1	0.04	1	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.03	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-	1	0.20	-	-
愛媛県	-	-	2	0.05	18	0.49	-	-	16	2.00	-	-	-	-	2	0.33	1	0.17
高知県	-	-	-	-	54	1.80	-	-	1	0.33	-	-	-	-	5	0.63	-	-
福岡県	6	0.05	10	0.08	92	0.77	-	-	14	0.54	1	0.08	-	-	1	0.08	-	-
佐賀県	-	-	5	0.22	6	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17	-	-
長崎県	6	0.14	-	-	28	0.64	-	-	2	0.25	-	-	-	-	1	0.08	-	-
熊本県	-	-	7	0.14	4	0.08	-	-	21	2.33	-	-	1	0.07	-	-	-	-
大分県	-	-	2	0.06	17	0.47	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.36	-	-
宮崎県	-	-	-	-	3	0.08	-	-	8	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	9	0.16	-	-	9	1.29	1	0.08	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	2	0.06	-	-	6	0.18	-	-	13	1.30	-	-	1	0.14	2	0.29	-	-

*病原体がロタウイルスであるものに限る。2013年10月14日より届出対象疾患となりました。

 報告数・定点当り報告数,
 疾病・都道府県別 2014年11週

	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	
	報告数	定点当り
総数	87	0.18
北海道	7	0.30
青森県	4	0.67
岩手県	5	0.26
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	1	0.10
福島県	4	0.57
茨城県	1	0.08
栃木県	2	0.29
群馬県	3	0.38
埼玉県	2	0.20
千葉県	1	0.11
東京都	6	0.24
神奈川県	2	0.20
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	1	0.20
静岡県	-	-
愛知県	3	0.21
三重県	-	-
滋賀県	4	0.57
京都府	1	0.14
大阪府	10	0.59
兵庫県	3	0.25
奈良県	4	0.67
和歌山県	2	0.18
鳥取県	2	0.40
島根県	1	0.13
岡山県	3	0.60
広島県	4	0.19
山口県	2	0.22
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	1	0.08
佐賀県	-	-
長崎県	1	0.08
熊本県	5	0.33
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	2	0.17
沖縄県	-	-

 報告数・疾病・都道府県別
 2014年11週

	インフルエンザ (入院患者)	
	報告数	
総数	591	
北海道	25	
青森県	20	
岩手県	38	
宮城県	17	
秋田県	25	
山形県	26	
福島県	6	
茨城県	32	
栃木県	9	
群馬県	14	
埼玉県	8	
千葉県	8	
東京都	31	
神奈川県	17	
新潟県	14	
富山県	10	
石川県	8	
福井県	14	
山梨県	-	
長野県	14	
岐阜県	11	
静岡県	10	
愛知県	19	
三重県	3	
滋賀県	10	
京都府	7	
大阪府	25	
兵庫県	1	
奈良県	4	
和歌山県	5	
鳥取県	17	
島根県	7	
岡山県	3	
広島県	16	
山口県	10	
徳島県	14	
香川県	2	
愛媛県	7	
高知県	6	
福岡県	24	
佐賀県	5	
長崎県	2	
熊本県	18	
大分県	10	
宮崎県	6	
鹿児島県	3	
沖縄県	10	

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年11週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2014年11週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第16巻 第11号 2014年3月28日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症疫学センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

< 国立感染症研究所 感染症疫学センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症疫学センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。